

# H3C Cloudnet機能ガイド

ニューh3cテクノロジーズ<http://www.h3c.com>

ドキュメントバージョン:6W100-20210726

**Copyright(C)2021,New H3C Technologies Co., Ltd.およびそのライセンサー**

**All rights reserved**

本書のいかなる部分も、New H3C Technologies Co., Ltd.の書面による事前の同意なしに、いかなる形式または手段によっても複製または転送することはできません。

**商標**

New H3C Technologies Co., Ltd.の商標を除き、本書に記載されているすべての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

**お知らせ**

本書に記載されている情報は、予告なしに変更されることがあります。本書の記述、情報、および推奨事項を含むすべての内容は、正確であると考えられますが、明示または黙示を問わず、いかなる保証もなしに提示されています。H3Cは、本書に記載されている技術的または編集上の誤りや脱落に対して責任を負わないものとしします。

# はじめに

このマニュアルでは、Cloudnetプラットフォームで提供される機能および設定手順について説明します。

ここでは、このマニュアルに関する次のトピックについて説明します。

- 対象ユーザー
- 表記規則。
- ドキュメントのフィードバック

## 対象ユーザー

このマニュアルは、次の読者を対象としています。

- ネットワークプランナー。
- フィールドテクニカルサポートおよびサービスエンジニア
- Cloudnetプラットフォームを使用するネットワーク管理者。

## 表記規則

ここでは、このマニュアルで使用されている表記法について説明します。





### コマンドの表記法

規約	説明
<b>ボールド体</b>	太字のテキストは、表示されているとおりに入力したコマンドおよびキーワードを表します。
<i>イタリック</i>	斜体テキストは、実際の値に置き換える引数を表します。
[]	角カッコは、オプションの構文選択(キーワードまたは引数)を囲みます。
{x y.}	中カッコは、必要な構文選択のセットを縦棒で区切って囲み、その中から1つを選択します。
[x y.]	角カッコは、オプションの構文選択のセットを縦棒で区切って囲みます。この中から1つを選択するか、何も選択しません。
{x y.*}	中カッコで囲まれたアスタリスクは、必要な構文選択のセットを縦棒で区切って囲みます。この中から少なくとも1つを選択します。
[x y.*]	アスタリスクでマークされた角カッコは、オプションの構文選択を縦棒で区切って囲みます。この中から、1つの選択、複数の選択、またはなしを選択できます。
&<1-n>	アンパサンド(&)記号の前の引数またはキーワードと引数の組み合わせは、1回からn回まで入力できます。
#	シャープ(#)記号で始まる行はコメントです。













### GUIの表記法

規約	説明
<b>ボールド体</b>	ウィンドウ名、ボタン名、フィールド名およびメニューアイテムは、太字で表示されます。たとえば、New Userウィンドウを開き、OKをクリックします。
>	複数レベルのメニューは、山括弧で区切られています。たとえば、File > Create

## 記号

規約	説明
 警告!	重要な情報に注意を喚起する警告であり、理解または従わないと、人身事故につながる可能性があります。
 注意:	重要な情報に注意を喚起するアラート。この情報を理解しない、またはこの情報に従わないと、データの損失、データの破損、ハードウェアまたはソフトウェアの損傷につながる可能性があります。
 重要:	重要な情報への注意を喚起する警告。
注:	追加情報または補足情報を含むアラート。
 ヒント:	有用な情報を提供するアラート。

## ネットワークポロジのアイコン

規約	説明
	ルーター、スイッチ、ファイアウォールなどの汎用ネットワークデバイスを表します。
	ルーターやレイヤ3スイッチなどのルーティング可能なデバイスを表します。
	レイヤ2またはレイヤ3スイッチなどの汎用スイッチ、またはレイヤ2転送およびその他のレイヤ2機能をサポートするルーターを表します。
	アクセスコントローラ、統合有線WLANモジュール、または統合有線WLANスイッチ上のアクセスコントローラエンジンを表します。
	アクセスポイントを表します。
	ワイヤレスターミネータユニットを表します。
	ワイヤレスターミネータを表します。
	メッシュアクセスポイントを表します。
	全方向信号を表します。
	方向信号を表します。
	ファイアウォール、UTM、マルチサービスセキュリティゲートウェイ、ロードバランシングデバイスなどのセキュリティ製品を表します。
	ファイアウォール、ロードバランシング、NetStream、SSL VPN、IPS、またはACGモジュールなどのセキュリティモジュールを表します。

## 本書で提供されている例

このドキュメントの例では、使用しているデバイスとハードウェアモデル、構成、またはソフトウェアバージョンが異なるデバイスを使用している場合があります。ポート番号、サンプル出力、スクリーンショット、および例のその他の情報が、使用しているデバイスのものと異なるのは正常です。

# マニュアルに関するフィードバック

製品ドキュメントに関するご意見は、[info@h3c.com](mailto:info@h3c.com)までEメールでお送りください。

ご意見に感謝いたします。

内容

- H3C Cloudnetプラットフォームについて ..... 7
- ネットワークを管理する ..... 10
  - ネットワーク ..... 10
    - テナントの管理 ..... 10
    - ダッシュボードへのアクセス ..... 10
    - サイト情報を管理する ..... 10
  - エンドポイント ..... 13
    - クライアント統計情報の表示 ..... 13
    - スマートエンドポイントの管理 ..... 16
  - モニタ ..... 18
    - デバイスの監視 ..... 18
    - APサマリーの表示 ..... 21
    - APの詳細を表示する ..... 21
    - クラウド管理されたAPの概要を表示する ..... 22
    - クラウド管理APリストを表示する ..... 22
    - 3G/4G設定の管理 ..... 23
    - アプリのランキング情報を見る ..... 25
    - ユーザーランキング情報の表示 ..... 25
- 設定 ..... 25
  - 自動展開テンプレートの管理 ..... 25
  - ACを設定する ..... 28
  - クラウド管理対象APの設定 ..... 35
  - ルーターの設定 ..... 37
  - スイッチの設定 ..... 40
- メンテナンス ..... 42
  - デバイスソフトウェアのアップグレード ..... 42
  - プライベートソフトウェアバージョンの管理 ..... 43
  - CLIヘルパーを使用する ..... 44
  - ファイルシステムへのアクセス ..... 44
  - 設定の復元 ..... 45
  - 構成の比較 ..... 45
  - デバイスの保守 ..... 45
  - ヘルスチェックを実行する ..... 46
  - ツールを使用してデバイスを管理する ..... 47
  - デバイスの交換 ..... 48
- メッセージ ..... 49
  - アラームの管理 ..... 49
  - 操作ログまたはログインログを表示する ..... 50
  - システムメッセージを表示する ..... 50
  - 障害レポートの管理 ..... 50
- システム ..... 51
  - サービスを有効または無効にする ..... 51
  - ラベルを設定する ..... 52
  - サブアカウントの管理 ..... 52
  - オープンプラットフォームの構成 ..... 53
  - アカウントを管理する ..... 53
  - デバイスのバインドを解除する ..... 54
  - エンドポイント資産を管理する ..... 54

# H3C Cloudnetプラットフォームについて

H3C Cloudnetプラットフォームは、Wi-Fi運用会社、020企業、中小企業を対象とした新しいIT運用プラットフォームです。

H3C Cloudnetプラットフォームは、H3C WLAN製品を1つのプラットフォームに統合し、オンラインネットワークモニタリング、デバイスO&M、020サービス運用、およびサードパーティープラットフォームとのシームレスな統合を可能にします。このプラットフォームには次の利点があります。

- **管理容易性:** ネットワーク全体をリアルタイムで監視して迅速な障害検出とトラブルシューティングを行い、必要に応じてサービスを展開して従業員とユーザーのトラフィックを監視し、それに応じて実行中のサービスを調整できます。
- **信頼性:** H3C Cloudnetプラットフォームは、監視サービスと導入サービスのみを提供し、ネットワークサービスを処理しません。ネットワーク接続が使用できない場合、システムはポータルのfail-permit機能をすぐに有効にするため、認証されたユーザーは引き続きネットワークにアクセスでき、認証されていないユーザーは認証されずにネットワークにアクセスできます。さらに、Cloudnetプラットフォームはデータバックアップのためにデータセンター全体に展開され、分散配置のマイクロサービスアーキテクチャを使用して、中断のないサービスを保証します。
- **高セキュリティ:** H3C Cloudnetプラットフォームは、展開にUniCloudを使用し、攻撃保護、ACL、vFirewall、アプリケーションファイアウォール、およびデータベースアクセスコントロールを提供して、アプリケーションとデータのセキュリティを確保します。
- **コスト有効性:** コストパフォーマンスの高いクラウド上での無料のネットワーク管理・認証サービスと、組み込み型のサードパーティーサービスをテナントに提供します。ユーザーは必要に応じてサードパーティーサービスをカスタマイズできます。一部のアプリケーションのみ有料です。

表1は、支店またはサイトで使用できるネットワーク管理メニューを示しています。

表1ネットワーク管理

レベル1	レベル2	レベル3	分岐	サイト
ネットワーク	テナント		√	√
	ダッシュボード		√	×
	サイト		√	√
	デバイス		√	√
	組織		√	√
エンドポイント	クライアントの統計情報	クライアントの概要	√	√
		クライアントの詳細	√	√
		トラフィックの要約	√	√
		トラフィックの詳細	√	√
	エンドポイント	重要なクライアント	√	√
		カメラ	√	√
モニタ	AC	まとめ	×	√
		APの要約	×	√
		APの詳細	√	√
	クラウドAP	ダッシュボード	×	√
		APリスト	×	√
	ルーター	まとめ	×	√
		3G/4G	×	√
		アプリランキング	×	√
		ユーザーランキング	×	√
		APの要約	×	√
		APの詳細	√	√
	スイッチ	まとめ	×	×
		APの要約	×	√
		APの詳細	×	√
	設定	自動配置		√
AC		ワイヤレスサービス	×	√
		AP設定	×	√
		WLANセキュリティ	×	√
		サービスの設定	×	√
		基本設定	×	√
		認証	×	√



		ユーザー	×	√
		802.1X認証	×	√
		GUI一括設定	√	×
		CLIバルク設定	√	×
メンテナンス		アップグレード	√	√
		プライベートバージョン	√	√
		CLIヘルパー	×	√
		ファイルシステム	×	√
		リストア	×	√
		設定を比較	√	√
		デバイスオペレーション	√	√
		ヘルスチェック	√	√
		ツール	√	√
		デバイスの交換	√	√
メッセージ		アラーム	√	√
		操作ログ	√	√
		システムメッセージ	√	√
		障害レポート	√	√
システム		サービススイッチ	√	√
		ラベル	√	√
		サブアカウント	√	√
		オープンプラットフォーム	√	√
		アカウント	√	√
		デバイスのバインド解除	√	√

# ネットワークを管理する

Cloudnetのホームにログインすると、ネットワークグリッドメニューに表示されます。

## ネットワーク

### テナントの管理

このタスクは、MSPアカウントでのみ使用できます。

テナント、管理要求、および非アクティブ化されたアカウントを管理するには、このタスクを実行します。作成されたテナントは、MSPアカウントによって直接管理されます。

#### テナント情報の表示とテナントの管理

1. 左側のナビゲーションペインで、**Network > Tenants**の順に選択します。  
**Tenant Info**タブには、管理対象のテナントおよびデバイスアソシエーションステータスに関する情報が表示されます。
2. テナントを作成するには、**Create Tenant**をクリックし、次のようにテナントを設定します。
  - ユーザー名(テナント名)、企業名、電子メールアドレス、パスワードなどのテナント情報を指定します。
  - 使用許諾契約に同意します。
  - **Complete**をクリックします。
3. テナントのWebインターフェイスにアクセスするには、**Tenant Info**リストでテナント名をクリックします。MSPアカウントのWebインターフェイスに戻るには、右上隅のアカウント名をクリックし、**Change Account**を選択して、**Back to MSP Account**をクリックします。
4. テナント管理要求を承認または拒否するには、**Request to Approve**をクリックします。要求を選択して、**Approve**または**Deny**をクリックします。
5. 非アクティブ化されたアカウントを表示するには、**Unactivated Accounts**をクリックします。開いたリストには、アクティブ化されていない電子メール登録済みアカウントが表示されます。

#### テナント管理レコードを表示する

1. 左側のナビゲーションペインで、**Network > Tenants**の順に選択します。
2. **Records**タブをクリックして、テナント管理の承認、拒否、および取り消し操作のレコードを表示します。

## ダッシュボードへのアクセス

詳細については、「H3C Cloudnet導入ガイド」を参照してください。

# サイト情報を管理する

#### サイト情報を表示する

1. 左側のナビゲーションペインで、**Network > Sites**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。  
**Site Summary**タブには、選択したサイトに関する次の情報が表示されます。

- **Site Summary**: 各カテゴリの合計デバイス数とオンラインデバイス数、またはオンラインクライアント数。タイルの下向きの山形のマークをクリックすると、詳細情報を展開できます。表示する列を調整するには、テーブルヘッダーの末尾にある**Columns**アイコン+/-をクリックします。
  - **Device Information**: オンライン状態、デバイス名、カテゴリ、モデル、サイト、およびデバイスバージョンなど、サイト内のデバイスに関する情報。この領域では、サイト内のデバイスを管理できます。詳細は、「[デバイスの管理](#)」を参照してください。
  - **AP Details**: サイト内のAPに関する情報(AP名、モデル、サイト、AC名、AC SN、MACアドレス、バージョンなど)。APをフィルターリングするには、**Online**、**Offline**、**All**、または**Invalid**をクリックします。APに関する詳細情報を表示するには、AP名をクリックします。
  - **Online Client List & Client Remarks**: サイト内のAPに関する情報(AP名、モデル、サイト、AC名、AC SN、MACアドレス、バージョンなど)。クライアントのコメントを編集するには、クライアントの**Remarks Column**をクリックします。
- **Network Topology**: システムはLLDPを通じてサイト内のデバイスを自動的に検出し、トポロジを作成します。別のサイトに登録されているデバイスやH3C以外のデバイスなど、システムがデバイスを識別できない場合は、デバイスアイコンに仮想ノードを表す疑問符(?)が付けられます。

**注:**

トポロジでIRFファブリックおよびポート集約を表示できません。

**図1 ネットワークトポロジ**




**デバイスの管理**


1. 左側のナビゲーションペインで、**Network > Sites**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. **Site Summary**タブで、**AC**タイルまたは**Cloud AP**タイルの**Device List**をクリックします。**Device Information**リストが表示されます。
4. サイトからデバイスを削除するには、デバイスを選択し、**Delete**をクリックします。
5. デバイスを再起動するには、デバイスを選択して、**Restart**をクリックします。
6. デバイスをアップグレードするには、デバイスを選択してから**Update**をクリックします。ソフトウェアを特定のバージョンにアップグレードするには、**Maintenance > Software Upgrade**ページに移動します。詳細は、「[デバイスソフトウェアのアップグレード](#)」を参照してください。

7. CLIからデバイスを設定するには、デバイスを選択し、**CLI Helper**をクリックします。詳細については、「[CLIヘルパーを使用する](#)」を参照してください。
8. デバイスのファイルシステムを管理するには、デバイスを選択して**File System**をクリックします。詳細は、「[ファイルシステムへのアクセス](#)」を参照してください。
9. デバイスのローカルWebインターフェイスにアクセスするには、デバイスを選択し、**Local Management**をクリックします。このタスクは、特定のモデルのオンラインデバイスでのみ使用できます。
10. デバイスの実行コンフィギュレーションを保存するには、デバイスを選択して、**Save Config**をクリックします。
11. デバイスの詳細情報を表示したり、デバイスを管理したりするには、デバイス名をクリックします。ページの右側に表示されるウィンドウには、基本情報、ポート情報、稼働情報、設定情報、および設定ショートカットが表示されます。**Details**をクリックすると、デバイスの詳細ページが開きます。

## サイトポロジを管理する

トポロジを編集できるのはテナントのみです。サイトポロジを管理するには、次の手順を実行します。

1. 左側のナビゲーションペインで、**Network > Sites**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. **Site Summary**タブで、次のタスクを実行してトポロジを編集します。
  - 新しいデバイスを検出するには、**Details**アイコンをクリックします。ダイアログボックスが開き、新しく検出されたデバイスが表示されます。
    - デバイス検出を再開するには、**Rediscover**をクリックします。
    - サイトにデバイスを登録するには、ターゲットデバイスを選択してから**Register**をクリックします。
  - トポロジの変更後にトポロジを更新するには、**Recalculate**をクリックします。デバイスを手動で追加、削除、または登録すると、トポロジが自動的に再計算されます。
  - トポロジをリフレッシュするには、**Refresh**をクリックします。トポロジの自動リフレッシュを有効にするには、**Auto Refresh**を有効にします。この操作により、次の1時間に10秒間隔でトポロジがリフレッシュされます。
  - トポロジを拡大または縮小するには、**Zoom In**または**Zoom Out**アイコンをクリックします。トポロジの方向を変更するには、**Vertical**または**Horizontal**をクリックします。変更後にキャンバスにすべてのデバイスを同時に表示できない場合は、デバイスアイコンをドラッグして表示を調整できます。
  - デバイスのIPアドレスまたはインターフェイス名を表示するには、**Show IP Address**または**Show Interface Name**を選択します。特定のレベルのノードのみを表示するには、リストからレベルを選択します。オプションには、**Expand All**、**Level One Nodes**、**Level Two Nodes**、および**Level Three Nodes**があります。
  - デバイスに関する基本、詳細、および実行中の情報を表示し、デバイスを管理するには、デバイスアイコンをクリックします。
  - デバイスを手動で追加するには、**Details**アイコンをクリックしてから、**Devices That Failed Registration**タブをクリックします。ゲートウェイデバイスとして手動で追加できるのは、ACGデバイスなどの特定のデバイスだけです。登録に失敗したデバイスには、次の状態を使用できます。
    - **Unknown version**: Cloudnetは、デバイスのバージョン情報を取得できません。
    - **Version Not Supported**: Cloudnetは、デバイスのハードウェア情報を取得できません。

- ん。
- **NETCONF Connection Not Established**: デバイスとCloudnetの間に接続エラーが発生しています。
- **LLDP Disabled LLDP**: はデバイス上でディセーブルです。
- **Other**
- o トポロジをダウンロードするには、**Download**アイコンをクリックします。

## エンドポイント

### クライアント統計情報の表示

クライアントやトラフィック統計情報などのネットワークアクセス情報を表示するには、次の作業を実行します。

#### 一般的な制限事項とガイドライン

- 関連付けられたクライアントには、認証に成功したクライアントと失敗したクライアントが含まれます。
- 認証が設定されていない場合、認証されたクライアントは0としてカウントされます。

#### クライアントサマリーの表示

現在オンライン、初回アクセス、複数アクセス(アソシエート)、合計クライアント、および平均オンライン期間に関するサマリーを表示するには、次の作業を実行します。

#### 制約事項とガイドライン

- **Data Comparison**
  - o 当日の統計情報を比較することはできません。
  - o 必要に応じて、同じサイトまたは異なるサイトのクライアント統計を比較できます。同じサイトの統計を比較する場合は、次の手順を実行します。
    - 日付を2回クリックすると、クライアントの傾向と1日の平均オンライン時間を比較できます。
    - 2つの異なる時間範囲でクライアントの傾向と平均オンライン時間を比較する場合、時間範囲の日数は同じである必要があります。
  - o 異なるサイトの統計を比較する場合は、同じ日または同じ時間範囲の統計のみを比較できます。
  - o 複数の日にわたる時間範囲を指定した場合、現在の日に関する統計は収集されません。
- **Client distribution by week visit quantity / week visit trend**
  - o 1つの日を選択すると、指定した日を含む週のクライアントデータが表示されます。たとえば、2018-05-23を選択すると、2018-05-21から2018-05-27までのクライアントデータが表示されます。
  - o 複数の日を選択すると、指定した日を含む週のクライアントデータが表示されます。たとえば、2018-05-20から2018-05-21を選択すると、2018-05-14から2018-05-20および2018-05-21から2018-05-27までのクライアントデータが表示されます。

#### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Endpoints > Client Statistics > Client Summary**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。

3. 指定した時間範囲のクライアント統計情報を比較するには、**Client Trend**領域の**Data Comparison**をクリックします。
4. 指定した時間範囲内のクライアントの平均滞在期間を比較するには、**Average Online Duration Trend**領域の**Data Comparison**をクリックします。

#### パラメータ

- **クライアント統計情報**
  - **Online Clients**: すべてのサイトのオンラインクライアントの数。
  - **Average Online Duration**: 各サイトのクライアントごとの1日の平均オンライン期間。複数日にわたる時間範囲を選択した場合、これらすべての日の統計が合計としてカウントされます。
- **クライアントランク**
  - **Top 5**: サイトのクライアント数が最も多い上位5日、またはクライアント数が最も多い上位5サイト。
  - **Bottom 5**: サイトのクライアント数が最も少ない上位5つの日付、またはクライアント数が最も少ない上位5つのサイト。現在の日付を選択すると、このグラフには過去7日間の統計が表示されます。
- **Access User Proportion**: 指定された時間範囲における最初のアクセスクライアントと複数のアクセスクライアントの割合。
- **Client Trend**: 選択した日の時間別クライアントトレンド、または選択した時間範囲の日別クライアントトレンド。クライアントが1時間または1日に複数回ネットワークにアクセスした場合でも、1つのクライアントは1つのクライアントとしてカウントされます。
- **By Client Vendor**: クライアントベンダー別のクライアントの分布。
- **By SSID**: SSID別のクライアントの分布。
- **Online Duration Proportion**: オンライン期間別のクライアントの分布。統計は累積されます。たとえば、クライアントがサイトに2回アクセスした場合、そのクライアントは2つのクライアントとしてカウントされ、滞在期間は2回のアクセスの合計になります。
- **Average Online Duration Trend**: 全クライアントの1日あたりの平均オンライン期間。今日、過去7日間の統計が表示されます。
- **Number of Week Visits/Week Visits Trend**: 週の訪問数によるクライアントの分布。

#### クライアントの詳細を表示する

オンラインまたはオフラインのクライアント情報を表示し、分析用にデータをエクスポートするには、次のタスクを実行します。

#### 制約事項とガイドライン

選択できるサイトは1つだけです。

表にはデフォルト情報のみが表示されます。詳細情報を表示するには、**Columns**アイコン<sup>+/</sup>をクリックし、表示するターゲット列を選択します。

#### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Endpoints > Client Statistics > Client Details**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. 関連付けられたクライアントに関する詳細情報を表示するには、**Associated Clients**をクリックします。

#### 4. 認証されたクライアントに関する詳細情報を表示するには、**Authenticated Clients**

をクリックします。パラメータ

- **Online Clients**: 現在のサイト内のすべてのオンラインクライアントに関する詳細情報。
- **Client History**: 過去1日から7日以内のすべてのオフラインクライアントに関する詳細情報。

#### トラフィックサマリーの表示

指定された時間範囲のリアルタイムクライアントトラフィックまたはクライアントトラフィックトレンドに関するサマリーを表示し、1つのサイトまたは異なるサイト間でトラフィック統計情報を比較するには、次の作業を実行します。

##### 制約事項とガイドライン

- 複数の日にわたる時間範囲を指定した場合、日単位の統計情報は表示されません。
- **Today**を選択すると、過去7日間の統計情報が表示されます。
- 当日の統計情報を比較することはできません。
- 必要に応じて、同じサイトまたは異なるサイトのトラフィック統計情報を比較できます。1つのサイトの統計情報を比較する場合は、次のようになります。
  - 日付を2回クリックすると、1日のトラフィック統計を比較できます。
  - 2つの異なる時間範囲のトラフィック統計情報を比較する場合は、時間範囲の日数が同じである必要があります。
- 異なるサイトの統計を比較する場合は、同じ日または同じ時間範囲の統計のみを比較できます。

##### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Endpoints > Client Statistics > Traffic Summary**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. 指定した時間範囲のトラフィック統計情報を比較するには、**Total Traffic Trend**領域の**Data Comparison**をクリックします。
4. 指定した時間範囲の1人あたりのトラフィック統計情報を比較するには、**Rank of Traffic per Person**エリアの**Data Comparison**をクリックします。

##### パラメータ

- **Traffic Statistics**: アップロードとダウンロードの合計トラフィック、1人あたりのアップロードとダウンロードのトラフィック、および30日以内の1日のトラフィック比率とピークトラフィック。
- **Total Traffic Ranking**: 日別またはサイト別の上位5位と下位5位のトラフィック。
- **Client Traffic Ranking**: クライアント別またはサイト別の上位10のトラフィック。
- **Total Traffic Trend**: 指定された時間範囲の合計トラフィックトレンド。
- **Rank of Traffic per Person**: 日別またはサイト別に、1人あたりの上位5位と下位5位のトラフィック。

#### トラフィックの詳細を表示する

オンラインまたはオフラインのクライアントトラフィック情報を表示し、分析用にデータをエクスポートするには、次の作業を実行します。

##### 制限事項とガイドライン

選択できるサイトは1つだけです。

##### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Endpoints > Client Statistics > Traffic Details**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. 関連付けられたクライアントに関する詳細なトラフィック情報を表示するには、**Associated Clients**をクリックします。
4. 認証されたクライアントに関する詳細なトラフィック情報を表示するには、**Authenticated Clients**をクリックします。パラメータ
  - **Online Client Traffic**: 現在のサイト内のすべてのオンラインクライアントに関する詳細なトラフィック情報。
  - **Client Traffic History**: 過去1~7日間のすべてのオフラインクライアントに関する詳細なトラフィック情報。

## スマートエンドポイントの管理

### 重要なエンドポイントの管理

クリティカルエンドポイントを資産として監視および管理するには、次のタスクを実行します。システムは、クリティカルエンドポイントのオンラインおよびオフラインメッセージを生成できます。

#### 手順

1. 左側のナビゲーションペインから、**Endpoints > Endpoints > Critical Clients**を選択
2. 作業ペインの上部から支店とサイトを選択します。開いたページには、次の情報が表示されます。
  - **Summary**: サイトまたは支店内の重要なクライアントに関する要約。今日の合計、オンライン、オフラインのクライアント、関連付けを解除されたクライアントとAP、関連付けを解除されたクライアントとAPを含みます。
  - **Alarms**: 指定された時間範囲内で頻繁に発生するクライアントのアソシエーション解除、クライアントのアソシエーション解除、およびクライアントのアソシエーションに対して生成されるアラーム。アラームの登録方法については、「[アラームの登録](#)」を参照してください。
  - **Traffic Top 10**: トラフィックが最も多い上位10のクライアントまたはサイト。
  - **Disassociation Top 10**: ディスアソシエーションが最も多い上位10クライアント。
  - **Sites with Critical Clients**: 各サイトのクリティカルクライアントの合計数とオンラインクリティカルクライアントの数。
  - **Client Trend**: オンラインおよびオフラインの重要なクライアントのトレンド。
  - **Real-Time Client Statistics**: 現在のサイトまたは支店におけるリアルタイムの重要なクライアント統計。重要なクライアントをフィルター処理するには、**Filter**をクリックし、フィルター条件を入力して**Search**をクリックします。
  - **Client Disassociation Log**: 重要なクライアントのアソシエーション解除ログ情報。
3. クリティカルクライアントを追加するには、**Add Critical Clients**をクリックします。**Endpoint**ページにリダイレクトされます。エンドポイント資産の詳細は、「[エンドポイント資産の管理](#)」を参照してください。

### カメラを管理する

カメラがシステムに接続されると、システムはカメラ情報を自動的に識別して表示できます。または、カメラをシステムに手動で追加することもできます。

#### 制約事項とガイドライン











- カメラの識別を有効にするには、デバイスでLLDPが有効であり、EPAをサポートしている必要があります。
- デバイスでMACアドレスマスクによるカメラ識別をサポートするには、デバイスをRelease 6320以降のバージョンにアップグレードする必要があります。

## 手順

1. 左側のナビゲーションペインから、**Endpoints > Endpoints > Cameras**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。

**Camera Monitoring**タブには、次の情報が表示されます。

- **Statistics:** オンライン、オフライン、および今日のオフラインカメラの数と、カメラの総数。
  - **Alarms:** 指定された時間範囲内のカメラのオフラインイベントおよびトラフィック異常に対して生成されたアラーム。アラームの登録方法については、「[アラームの登録](#)」を参照してください。
  - **Traffic Ranking:** 指定された時間範囲のトラフィック量による上位5台と下位5台のカメラ。
  - **Disassociation Top 10:** ディスアソシエーションが最も多いカメラのトップ10。
  - **Online / Offline event Trend:** カメラのオンラインイベントとオフラインイベントのトレンド。
  - **Camera List:** サイト内のカメラに関する統計情報(状態、MACアドレス、アップリンクデバイス、VLANなど)。
  - **Offline Event Logs:** サイト内のカメラのオフラインイベントログ。ログをエクスポートするには、**Export**をクリックします。
  - **Scheduled Task List:** タスク名、アクション、スケジュール、実行モード、関連するカメラなど、カメラにスケジュールされたタスクに関する情報。
3. カメラを管理するには、次のタスクを実行します。
    - カメラを検出するには、**Discover**をクリックします。システムはスイッチおよびルーターの情報を取得し、カメラを識別し、情報を**Cloudnet**と同期させます。
    - カメラをシールドするには、カメラを選択し、カメラリストの上部にある**Shield**をクリックします。シールドされたカメラが**denylist**に追加されます。
    - カメラの電源管理を実行するには、そのカメラを選択して**PoE**をクリックし、**Enable**、**Disable**、または**Restart**を選択して、そのカメラのPoE電源を有効、無効、または再起動します。
    - カメラのPoE電源をスケジュールするには、次の手順を実行します。
      - カメラを選択し、**Scheduled Task**をクリックします。
      - 表示されたダイアログボックスで、タスク名を入力し、アクションを選択し、時間範囲を指定して、**OK**をクリックします。作成されたスケジュールタスクは、スケジュールタスクリストに表示されます。
    - スケジュールされたタスクの削除、開始、停止、編集、またはスケジュールされたタスク内のカメラリストの編集を行うには、タスクの**Actions**コラムで、、、、 または  をクリックします。
    - スケジュールされたタスクのカメラリストを表示するには、そのタスクの**Cameras**コラムの番号リンクをクリックします。
    - スケジュールされたタスクを一括して削除するには、1つまたは複数のタスクを選択し、タスクリストの上部にある**Delete**をクリックして、表示されるダイアログボックスで**OK**をクリックします。
  4. カメラの識別情報を設定するには、**Camera Identification**タブをクリックします。

- カメラを追加するには、**Add**をクリックし、MACアドレス、マスク、およびデバイス名を入力してから**Submit**をクリックします。
- カメラを編集するには、そのカメラの**Actions**のをクリックします。
- カメラを削除するには、そのカメラの**Actions**列のをクリックします。カメラを一括削除するには、カメラを選択し、リストの一番上にある**Delete**をクリックして、表示されるダイアログボックスで**OK**をクリックします。
- カメラリストを更新するには、**Refresh**をクリックします。
- シールドされたカメラを表示するには、**Denylist**をクリックします。**denylist**からカメラを削除するには、そのカメラの**Actions**列のをクリックします。**denylist**から複数のカメラを一括して削除するには、カメラを選択し、**denylist**の上にある**Delete**をクリックします。

## モニタ

### デバイスの監視

#### 制約事項とガイドライン

- この作業は、AC、ルーター、およびスイッチで使用できます。
- デバイスに関する詳細情報を取得するには、デバイスをCloudnetのプラットフォームに接続します。
- 操作ログは最大1か月以内に表示できます。
- 複数日にわたる時間範囲を指定した場合、現在の日に関するCPU、メモリー、およびレートの統計情報は収集されません。
- システムは、CPUとメモリーの使用率、およびアップリンクとダウンリンクのレートを10分ごとに収集します。複数日のデータを表示するには、水平スクロールバーを縮小してから左右にドラッグします。
- 特定の時点でのアップリンクレートとダウンリンクレートを表示するには、トレンドグラフのその時点にカーソルを合わせます。

#### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Monitor > Device Category > Summary**を選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。
3. 必要に応じてデバイス操作を実行します。

#### すべてのデバイスで利用できるタスク

1. CPUとメモリーの使用状況の傾向を表示するには、**Operating Info**タイトルの**Expand**をクリックします。ログには、**Cloudnet**アカウント、IPアドレス、およびデバイス設定に関する操作が記録されます。
2. デバイスのアソシエーションおよびアソシエーション解除のレコードを表示するには、**Device State**から**Expand**をクリックします。
3. レートトレンドを表示するには、**Realtime Rate**タイトルから**Expand**をクリックします。定格帯域幅を設定するには、**Set Rated Bandwidth**をクリックします。
4. 指定した時間範囲内のアソシエーション解除量によるAPランキングを表示するには、**AP Info**タイトルから**Expand**をクリックします。**The Top10 APs with Most Disassociations**グラフが開きます。

5. 指定した時間範囲のクライアントアソシエーショントレンドを表示するには、**Client Info**タイトルの**Expand**をクリックします。時間範囲が1日の場合は、クライアント統計情報が時間単位で表示されます。時間範囲が複数日の場合は、クライアント統計情報が日単位で表示されます。
6. 最新の操作ログを表示するには、**Device Logs**タブをクリックします。  
表示されるリストには、ユーザー、IP、操作説明、操作時刻、結果など、過去1か月の操作ログが表示されます。必要に応じて、時間範囲でログをフィルターできます。
7. アラームログを表示するには、**Alarm Logs**タブをクリックします。  
開いたリストには、通知方法、重大度、アラーム状態、アラームタイプ、サイト、デバイス、内容、生成時刻など、指定した時間範囲内にデバイスで生成されたアラームに関する情報が表示されます。
  - 表示する列を調整するには、**Columns**アイコン+/-をクリックします。
  - アラームをフィルターするには、**Filter**をクリックし、必要に応じてフィルター条件を指定します。
  - 表示されているアラームをエクスポートするには、**Export**をクリックします。
  - 特定のアラームを既読としてマークするには、アラームを選択して**Mark as Read**をクリックします。
  - すべてのアラームを既読としてマークするには、**Mark All as Read**をクリックします。
8. ping、トレース、またはAP検索ツールを使用するには、**Tools**タブをクリックします。詳細については、「[ツールを使用してデバイスを管理する](#)」を参照してください。







#### ACおよびルーターだけで使用可能なタスク

1. APリストを表示するには、**AP List**タブをクリックします。  
開いたリストには、AP名、SN、モデル、MAC、バージョンなどのAP情報が表示されます。
  - 表示する列を調整するには、**Columns**アイコン+/-をクリックします。
  - APをフィルターリングするには、**Online**、**Offline**、**All**、または**Invalid**をクリックします。
  - APの名前を変更するには、AP名をクリックします。
2. クライアントリストを表示するには、**Client List**タブをクリックします。  
表示されるリストには、クライアントMAC、IP、ベンダー、関連付けられたAP、SSID、オンライン時間、RSSI、頻度、チャネル、アソシエーション時間、クライアントモードなどのクライアント情報が表示されます。表示する列を調整するには、**Columns**アイコン+/-をクリックします。


#### スイッチでのみ使用可能なタスク

1. インターフェイスの統計情報を表示するには、**Summary**タブをクリックします。  
開いたリストには、インターフェイスタイプ、リンク状態、PoEサポート、インバウンドレート、アウトバウンドレート、インバウンドユニキャスト、アウトバウンドユニキャスト、インバウンド非ユニキャスト、アウトバウンド非ユニキャスト、破棄されたインバウンド非エラーパケット、破棄されたアウトバウンドを含む、インターフェイス統計情報が表示されます。  
エラーのないパケット
  - 表示する列を調整するには、**Columns**アイコン+/-をクリックします。
  - 特定のインターフェイスに関する統計情報をクリアするには、インターフェイスを選択して、**Bulk Delete**をクリックします。
  - すべての統計情報をクリアするには、**Clear All**をクリックします。
2. インターフェイスを設定するには、**Interface Management**タブをクリックし、管理するインターフェイスを選択し、インターフェイスパラメータを設定して、**Submit**をクリックします。  
使用可能なパラメータには、管理状態、デュプレックスモード、インターフェイスタイプ、PVID、レ

ート、フロー制御、および帯域幅があります。設定結果は、次のインターフェイスリストから確認できます。

3. VLAN設定を管理するには、VLANタブをクリックします。  
開いたリストには、VLAN ID、タグなしポート、タグ付きポート、VLANインターフェイスIP、サブネットマスク、VLANの説明などのVLAN情報が表示されます。
  - すべてのタグ付きまたはタグなしポートを表示するには、アイコンをクリックします。
  - VLANを編集するには、**Edit**アイコンをクリックします。
  - VLANを削除するには、**Delete**アイコンをクリックします。
  - 指定したVLANを削除するには、**Custom Deletion**をクリックします。
  - VLANを追加するには、**Add**をクリックします。
4. リンクアグリゲーションを構成するには、**Link Aggregation**タブをクリックします。  
表示されるリストには、アグリゲーショングループID、説明、アグリゲーションモード、メンバーポートなどのリンクアグリゲーション情報が表示されます。
  - グループのすべてのメンバーポートを表示するには、 アイコンをクリックします。
  - 集約グループを編集するには、そのグループの**Edit**アイコン をクリックします。集約タイプ、集約モード、説明およびメンバーポートを編集できます。
  - 集約グループを削除するには、**Delete**アイコン をクリックします。
  - 集約グループを追加するには、**Add**をクリックします。
  - 特定の集約グループを削除するには、グループを選択し、**Bulk Delete**をクリックします。
5. 隔離ポートを設定するには、**Port Isolation**タブをクリックします。  
開いたリストには、分離グループIDやメンバーポートなどのリンクアグリゲーション情報が表示されます。

## パラメータ

- **デバイススコア**
  - **Remaining Bandwidth**: 使用可能な合計帯域幅に対する出力帯域幅の比率。比率が低いほど、スコアが高くなります。定格帯域幅を設定するには、このフィールドの横にある をクリックします。
  - **Online AP Ratio**: APの合計数に対するオンラインAPの比率。オンラインAPが多いほど、スコアが高くなります。
  - **Client Rate**: APの合計数に対する低レートクライアントのレート別。低レートクライアントが少ないほど、スコアが高くなります。
  - **Security Score**: WLAN内の不正なAPの数による。不正なAPが少ないほど、スコアが高くなります。
  - **Wireless Environment**: 干渉状態別。干渉が少なく、スコアが高い。
  - **System Health**: CPUおよびメモリーの使用率別。CPUおよびメモリーの使用率が低いほどスコアが高くなります。システムでは、両者の間のスコアが低い方を使用します。
- **Panel Info**: デバイスパネル上のポートに関する情報(ポート名、動作状態、設定レート、実際のレート、デュプレックスモード、リンクタイプ、ポートの説明など)。ポートに関する情報を表示するには、ポートをクリックします。  
スイッチのパネル情報については、「[基本設定の構成](#)」を参照してください。
- **Set Rated Bandwidth**: 指定された時間範囲内のデバイスのアップリンクおよびダウンリン

クのレート。定格帯域幅を設定するには、**Set Rated Bandwidth**をクリックします。定格帯域幅を設定すると、グラフ内の定格帯域幅の値がそれに応じて変化します。定格帯域幅は、サービスプロバイダーから購入したものと同じに設定する必要があります。

## APサマリーの表示

### 制約事項とガイドライン

- この作業は、AC、ルーター、およびスイッチで使用できます。
- 1つのサイトを選択することも、複数のサイトを含む支店を選択することもできます。
- 予期せずにオフラインになったAPは、オフラインAPとしてカウントされません。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Monitor > Device\_Category > AP Summary**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. すべてのAPのリアルタイムトラフィックランキングを表示するには、**Realtime AP Traffic Top 5**エリアの右上隅にある**Info**アイコンをクリックします。
4. すべてのAPのユーザーランキングをリアルタイムで表示するには、**Realtime AP User Top 5**の右上隅にある**Info**アイコンをクリックします。

### パラメータ

- **AP Statistics:** オンライン、オフライン、合計、および無効なAPの数。
- **Realtime AP Traffic Top 5:** ダウンリンクトラフィックが最も多いAPのトップ5。
- **Realtime AP User Top 5:** 関連付けられているクライアントが最も多い上位5つのAP。
- **AP Disassociation:** アソシエーション解除数によるAPの分布。
- **AP Disassociation Reason:** アソシエーション解除理由によるAPの分散。
- **AP Disassociation Top 10:** アソシエーション解除が最も多いAPの上位10。APのアソシエーション解除は日単位でカウントされます。


## APの詳細を表示する

### 制約事項とガイドライン

このタスクは、AC、ルーター、およびスイッチだけで使用できます。

30日以内のイベントとアソシエーション解除の詳細のみを表示できます。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Monitor > Device\_Category > AP Details**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. **APs**タブで、APの詳細を表示し、次のようにAPを管理します。
  - APの名前を編集するには、**AP name**リンクをクリックします。
  - 表示する列を編集するには、アイコンをクリックします。
4. 無線の詳細を表示するには、**Radios**タブをクリックします。
5. APイベントの詳細を表示するには、**Events**タブをクリックします。
6. APのアソシエーション解除の詳細を表示するには、**Disassociations**タブをクリックします。
7. ページをリフレッシュするには、**Refresh**をクリックします。

8. APまたは無線情報をエクスポートするには、**Export**をクリックします。イベント情報またはアソシエーション解除情報をエクスポートするには、時間範囲を選択し、**Export**をクリックします。

## クラウド管理されたAPの概要を表示する

### 制約事項とガイドライン

このタスクは、クラウド管理されたAPだけで使用できます。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Monitor > Cloud APs > Dashboard** を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。

### パラメータ

- **AP Statistics:** オンライン、オフライン、およびクラウド管理されたAPの合計数。
- **Top 5 AP by Traffic:** 現在のサイトで今日のトラフィック合計が最も多い5つのAP。
- **Top 5 AP by Endpoints:** 現在のサイトで、リアルタイムで最もオンラインのエンドポイントを持つ5つのAP。
- **Top5 AP by Alarms:** 現在のサイトでアラームが最も多い5つのAP。

## クラウド管理APリストを表示する


### 制約事項とガイドライン

このタスクは、クラウド管理されたAPだけで使用できます。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Monitor > Cloud APs > AP List**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。  
開いたページには、APのオンライン状態、MACアドレス、バージョン、および無線情報などのAP情報が表示されます。
3. 表示する列を調整するには、**Columns**アイコン+/-をクリックします。
4. 更新された情報を表示するには、**Refresh**をクリックしてリストをリフレッシュします。
5. APに関する詳細情報を表示するには、AP名をクリックします。

**State**タブが開き、APの基本、CPUとメモリーの使用状況、および当日に収集されたアップリンクとダウンリンクのトラフィック情報が表示されます。

- APで生成された操作ログとアラームを表示するには、**Event**タブをクリックします。
- クライアントアソシエーションのトレンドおよびオンラインクライアント情報を表示するには、**Client**タブをクリックします。システムは5分間隔でクライアント統計を収集します。**Online Client Info**リストでクライアントのMACアドレスをクリックすると、クライアントの状態および統計を含むクライアントの詳細を表示できます。
- ping、トレース、またはAP検索ツールを使用するには、**Tools**タブをクリックします。  
AP位置確認ツールを使用すると、AP LEDが最大30分間点灯してAPの位置を確認できます。ページから離れると、前のLEDの状態に戻ります。
- AP名を編集するには、アイコン をクリックします。

# 3G/4G設定の管理

## 制約事項とガイドライン

このタスクは、ルーターだけで使用できます。

## 3G/4G情報の表示と3G/4Gデバイスの管理

### 手順







1. 左側のナビゲーションペインで、**Monitor > Routers > 3G/4G**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。  
**3G/4G Info**タブが開き、サイト内の3G/4Gデバイスに関する情報が表示されます。
3. GISマップでデバイスを検索するには、デバイスのGIS位置アイコンをクリックします。  
GISマップには、マップ内のすべてのデバイスが表示されます。オンラインデバイスは青色、オフラインデバイスは灰色、現在のデバイスは赤色で表示されます。デバイスアイコンをクリックすると、デバイス情報を表示できます。  
デフォルトでは、自動的に計算されたデバイスの位置が表示されます。デバイスの位置を手動で調整するには、デバイスアイコンを正しい位置にドラッグします。デフォルトの位置に戻すには、**Reset Location**をクリックします。
4. 領域ロックアラームを有効にするには、デバイスの領域ロックアイコンをクリックするか、デバイスを選択してから**Lock Region**をクリックします。  
この機能を使用すると、デバイスがロックされた領域から外れたときに、システムでアラームを生成できます。
5. しきい値アラームを有効にするには、デバイスのトラフィックしきい値アイコンをクリックし、しきい値を設定します。  
この機能を使用すると、デバイストラフィックがしきい値を超えた場合に、システムがアラームを生成できるようになります。
6. 信号強度アラームを有効にするには、デバイスの信号強度しきい値アイコンをクリックして、しきい値を設定します。  
この機能を使用すると、デバイストラフィックがしきい値を超えた場合に、システムがアラームを生成できるようになります。
7. デバイスの詳細を表示するには、デバイスの詳細アイコンをクリックします。開いたページには、デバイスの構成と基本が表示されます。
8. ネットワーク接続をテストするには、デバイスのリンクテストアイコンをクリックし、宛先IPアドレス、テストインターフェイス、およびアラームしきい値を設定します。  
この機能が設定されている場合、デバイスは、指定されたインターフェイスと宛先IPアドレス間のネットワーク接続を5分間隔でテストします。障害数がしきい値を超えると、アラームが生成されます。

図2 3 G/4G Infoタブ

Device Name	IMSI	Network Type	SIM Card State	Signal Strength	Online Duration	Downlink Rate(KB/s)	Uplink Rate(KB/s)	Total Traffic(MB)	Actions
MSR810.LME	460115864611526	China Telecom	Offline	X	0d0h0m	0.04	0.07	0	

### パラメータ

- **Device Name:** デバイスがCloudnetに追加されたときに指定されたデバイス名。
- **IMSI:** SIMカードのIMSI番号。
- **Network Type:** SIMカードのサービスプロバイダータイプ。
- **SIM Card State:** SIMカードのオンライン状態。
- **Signal Strength:** SIMカードの信号強度。
- **Online Duration:** SIMカードのオンライン時間。
- **Downlink Rate(KB/s):** SIMカードインターフェイスのダウンリンクレート。
- **Uplink Rate(KB/s):** SIMカードインターフェイスのアップリンクレート。
- **Total Traffic(MB):** SIMカードの総トラフィック。

### オンライン統計情報の表示

#### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Monitor > Routers > 3G/4G**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. **Online Statistics**タブをクリックします。

デバイスのオンラインサマリー、サービスプロバイダー別のデバイス配信、および信号強度別のデバイス配信を表示できます。

#### パラメータ

- **Online State Summary:** デバイスの分布をオンライン状態別に円グラフで表示します。
- **Online Devices & Offline Devices:** オンラインデバイスの数とオフラインデバイスの数が表示されます。
- **Online Rate Alarm:** オンラインレートアラームのしきい値を設定します。サイト内のデバイスのオンラインレートがしきい値を下回ると、システムはアラームを生成します。
- **View Signal Strength:** クリックすると、デバイス信号強度の概要が表示されます。デバイスの信号強度の履歴を表示するには、そのデバイスの**Actions**カラムのアイコンをクリックします。
- **View Online Rate Trend:** クリックすると、過去1か月のサイト内のデバイスのオンライン料金トレンドが表示されます。
- **By Service Provider:** サービスプロバイダー別のデバイス配信およびデバイスオンラインレートを表示します。
- **By Signal Strength:** 信号強度レベル別にデバイス分布を表示します。使用可能なレベルには、**Excellent、Good、Normal、Bad、No Signal**があります。

### トラフィックの詳細を表示する

1. 左側のナビゲーションペインで、**Monitor > Routers > 3G/4G**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。



3. **Traffic Details**タブをクリックします。  
開いたページには、サイト内のデバイスのアップリンクトラフィック、ダウンリンクトラフィック、および合計トラフィックが棒グラフで表示されます。
4. トラフィックおよびレート分析のサマリーを表示するには、**View Details**をクリックします。  
**Actions**カラムのアイコンをクリックすると、過去1か月のトラフィックトレンドまたはレートトレンドを表示できます。

## アプリのランキング情報を見る

### 制約事項とガイドライン

このタスクは、ルーターだけで使用できます。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで**Monitor > Routers > App Ranking**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. 今日、今週、今月などの時間範囲を選択するか、カスタマイズします。**Customize**を選択した場合は、カレンダーで時間範囲を選択します。
4. アプリ名をクリックすると、左側のドーナツグラフにアプリのトラフィック利用状況が表示され、右側のトレンドグラフにアプリのアップリンクとダウンリンクのトラフィックトレンドが表示される。
5. ページをリフレッシュするには、 をクリックします。

## ユーザーランキング情報の表示

### 制約事項とガイドライン

このタスクは、ルーターだけで使用できます。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Monitor > Routers > User Ranking**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. 今日、今週、今月などの時間範囲を選択するか、カスタマイズします。**Customize**を選択した場合は、カレンダーで時間範囲を選択します。
4. IPアドレスをクリックします。左側のドーナツグラフには、このIPアドレスのユーザーのトラフィック使用状況が表示されます。右側のトレンドグラフには、ユーザーのアップリンクとダウンリンクのトラフィックトレンドが表示されます。
5. ページをリフレッシュするには、 をクリックします。

## 設定





認証設定、ユーザー管理、および802.1X認証の詳細については、『H3C Cloudnet認証ユーザーガイド』を参照してください。

## 自動展開テンプレートの管理

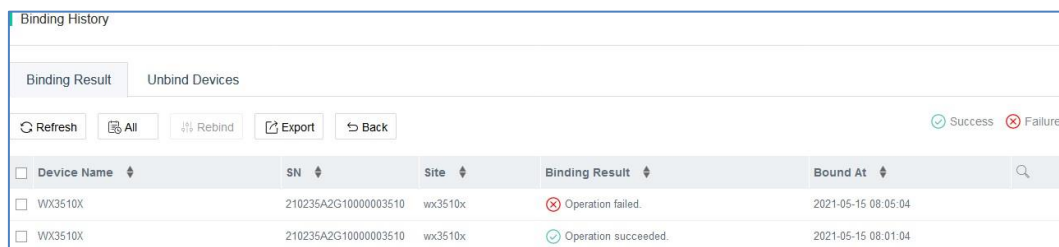
サイトに自動展開テンプレートを適用して、デバイスアソシエーションで特定のデバイスを自動的に設

定できます。これにより、設定のワークロードを削減できます。

## AC用自動展開テンプレートの管理

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Autodeploy**を選択します。
2. AC用の自動展開テンプレートを追加するには、**Add**をクリックし、必要に応じて次のパラメータを設定して、**OK**をクリックします。
  - **Template**: テンプレート名を指定します。
  - **Device Model**: テンプレートを適用するデバイスのモデルを指定します。
  - **Description**: テンプレートの説明を指定します。
  - **Copy Settings**: 既存の自動展開テンプレートから設定をコピーするかどうかを選択します。
  - VLAN、プローブ、認証、帯域幅、自己定義VLAN、プローブ、認証、帯域幅、およびその他の設定を指定します。
3. 自動配置テンプレートをサイトにバインドするには、そのテンプレートの**Bind**アイコン  をクリックします。**Bind**をクリックし、バインドするテンプレートを選択して、**OK**をクリックします。
4. 自動配置テンプレートをサイトからバインド解除するには、そのテンプレートの**Bind**アイコン  をクリックします。テンプレートを選択し、**Unbind**をクリックします。
5. バインドされたサイトを表示するには、**Bound Site**列の番号リンクをクリックします。
6. 自動配置テンプレートを編集するには、そのテンプレートの**Edit**アイコン  をクリックします。
7. アプリケーションレコードを表示するには、テンプレートの**View History**アイコン  をクリックします。
  - **Binding Result**タブでは、次のタスクを実行できます。
    - バインド結果をリフレッシュするには、**Refresh**をクリックします。
    - 時間範囲で結果をフィルターするには、**One Day**をクリックし、時間範囲を選択します。オプションには、**One Day**、**One Week**、**One Month**、および**All**があります。
    - デバイスを再バインドするには、デバイスを選択して**Rebind**をクリックします。テンプレート設定がデバイスに展開されます。
    - すべてのバインド結果をエクスポートするには、**Export**をクリックします。

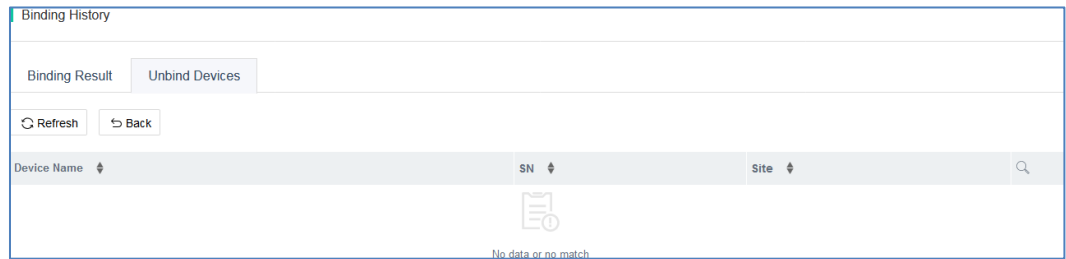
### 図3 バインド解除結果




Device Name	SN	Site	Binding Result	Bound At
WX3510X	210235A2G10000003510	wx3510x	Operation failed.	2021-05-15 08:05:04
WX3510X	210235A2G10000003510	wx3510x	Operation succeeded.	2021-05-15 08:01:04

- **Unbind Devices**タブで、**Refresh**をクリックすると、バインド解除されたデバイスのリストを更新できます。

図4 バインド解除したデバイスリスト



8. 自動配置テンプレートを削除するには、そのテンプレートのDeleteアイコンをクリックし、OKをクリックします。





### スイッチの自動展開テンプレートの管理

スイッチの自動展開テンプレートは、CLIモードまたはGUIモードで設定できます。GUIモードをサポートしているのは、Demo 6511、ESS 1105P01、およびそれ以降のバージョンのみです。


スイッチの展開テンプレートを管理するには、次の手順に従います。

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Autodeploy**を選択します。
2. AC用の自動展開テンプレートを追加するには、**Add**をクリックし、必要に応じて次のパラメータを設定して、**OK**をクリックします。
  - **Template:** テンプレート名を指定します。
  - **Device Model:** テンプレートを適用するデバイスのモデルを指定します。
  - **Description:** テンプレートの説明を指定します。
  - **Copy Settings:** 既存の自動展開テンプレートから設定をコピーするかどうかを選択します。
  - **VLAN、Probe、Authentication、Band Width、Self Defined:** VLAN、プローブ、認証、帯域幅、およびその他の設定を指定します。

GUIモードで、テンプレート名、デバイスモデル、説明を指定し、**OK**をクリックしてから、指示に従ってテンプレートを編集します。





3. 自動配置テンプレートをサイトにバインドするには、そのテンプレートのBindアイコンをクリックします。**Bind**をクリックし、バインドするテンプレートを選択して、**OK**をクリックします。
4. 自動配置テンプレートをサイトからバインド解除するには、そのテンプレートのBindアイコンをクリックします。テンプレートを選択し、**Unbind**をクリックします。
5. バインドされたサイトを表示するには、**Bound Site**列の番号リンクをクリックします。
6. 自動配置テンプレートを編集するには、そのテンプレートのEditアイコンをクリックします。
7. アプリケーションレコードを表示するには、テンプレートのView Historyアイコンをクリックします。
  - **Binding Result**タブでは、次のタスクを実行できます。
    - バインド結果をリフレッシュするには、**Refresh**をクリックします。
    - 時間範囲で結果をフィルターするには、**One Day**をクリックし、時間範囲を選択します。オプションには、**One Day、One Week、One Month**、および**All**があります。
    - デバイスを再バインドするには、デバイスを選択して**Rebind**をクリックします。テンプレート設定がデバイスに展開されます。
    - すべてのバインド結果をエクスポートするには、**Export**をクリックします。
  - **Unbind Devices**タブで、**Refresh**をクリックすると、バインド解除されたデバイスのリストを

更新できます。

8. 自動配置テンプレートを削除するには、そのテンプレートのDeleteアイコンをクリックし、OKをクリックします。

## ACを設定する

### ワイヤレスサービスの設定

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > ACs > Wireless Services**の順に選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。
3. ワイヤレスサービスを追加するには、**Add**をクリックし、必要に応じてワイヤレスサービスの設定を行います。次に、**Submit**をクリックして追加を終了するか、**Next**をクリックしてAPをこのワイヤレスサービスにバインドします。
4. APを既存のワイヤレスサービスにバインドするには、そのワイヤレスサービスのBindアイコンをクリックし、**Unbound APs**タブをクリックして**APs(radios)**を選択し、**Bind**をクリックします。
5. ワイヤレスサービスのバインドを解除するには、そのワイヤレスサービスのBindアイコンをクリックし、**Bound APs**タブで**APs(radios)**を選択してから、**Unbound**をクリックします。
6. バインドされたAPに関する情報を表示するには、**Bound APs**カラムの番号をクリックします。
7. ワイヤレスサービスを編集するには、そのワイヤレスサービスのEditアイコンをクリックします。
8. ワイヤレスサービスを削除するには、そのワイヤレスサービスのDeleteアイコンをクリックします。
9. ローカルで作成されたワイヤレスサービスに関する情報をCloudnetのプラットフォームに同期させるには、**Sync**をクリックします。  
同期できるのは、SSIDが設定されているワイヤレスサービスだけです。

### AP設定の構成

このタスクは、バージョン5418以降のACだけで使用できます。APリストには、自動APから変換されたAPを含め、手動APだけが表示されます。

AP設定を構成するには、次の手順を実行します

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > AcS > AP Settings**を選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。
3. APを設定するには、そのAPのEditアイコンをクリックします。APのAP名、状態、チャネル、電力、または帯域幅のリンクをクリックして、特定のフィールドを編集することもできます。
4. ローカルに設定されたAP設定をCloudnetに同期するには、**Sync**をクリックします。
5. 表示されたAP情報をエクスポートするには、**Export**をクリックします。

### WLANセキュリティの設定

このタスクは、バージョン5441以降のACだけで使用できます。WLANセキュリティ設定を設定するには、次の手順を実行します。

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > ACs > WLAN Security**を選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。**Attack Detection**タブが

表示されます。

3. 攻撃検出を設定するには、攻撃検出をイネーブルにしてから、検出レベル、検出項目、対策項目、およびセンサーAPを指定します。**OK**をクリックします。
4. SSID検出を設定するには、**SSID Detection**タブをクリックします。SSID検出を有効にし、検出規則を設定し、センサーAPを指定して、**OK**をクリックします。
5. MACスプーフィング検出を設定するには、**MAC Spoofing Detection**タブをクリックします。ワイヤレスサービスの機能をイネーブルにします。

### 基本的なネットワーク設定を構成する

この機能をサポートしているのは、MSG360シリーズだけです。

#### ネットワークの基本ページにアクセスする

1. 左側のナビゲーションペインで**Settings > ACs > Basic Settings**を選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。

**External Network**タブが表示されます。内部ネットワーク設定を構成するには**Internal Network**タブ

3. ローカルで設定された基本的なネットワーク設定を**Cloudnet**に同期するには、**Sync**をクリックします。

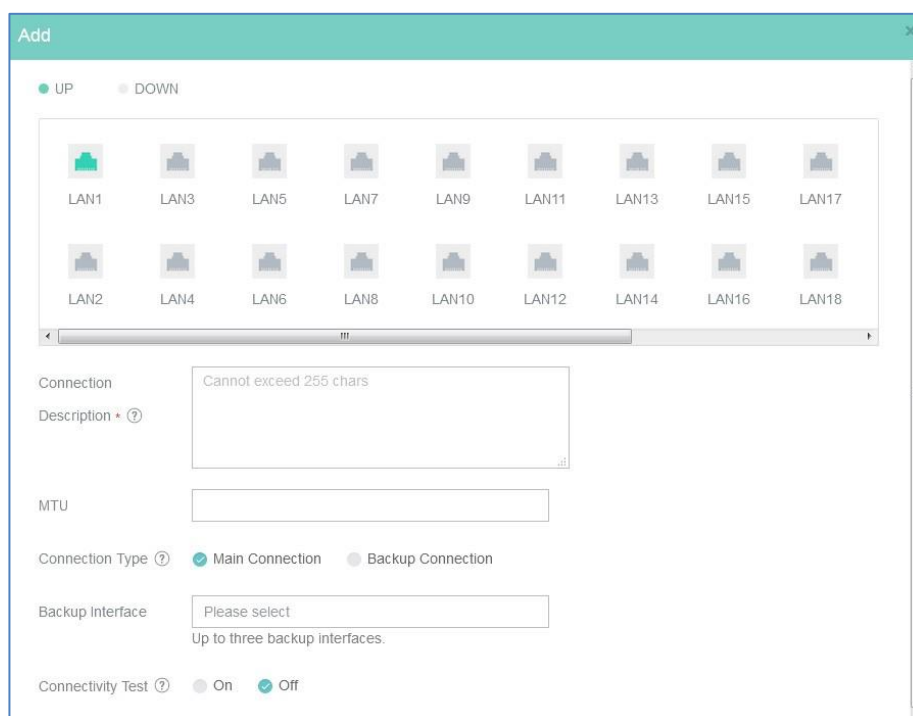
#### 自動更新を設定する

ページが自動的にリフレッシュされるようにするには、自動リフレッシュを有効にします。この機能を使用すると、次の1時間に5分間隔でページをリフレッシュできます。

#### 外部ネットワーク設定を構成する

1. インターネット設定を構成するには、**Internet**タブをクリックします。
  - インターネット接続を追加するには、**Add**をクリックし、必要に応じてインターフェイスを設定します。
    - インターフェイスを選択します。
    - 接続の説明を指定します。疑問符(?) は使用できません。
    - MTUを指定します。
    - 接続方法を指定します。メイン接続はアクティブな接続であり、バックアップ接続はメイン接続に障害が発生した場合にのみアクティブになります。
    - 接続がメイン接続の場合は、バックアップインターフェイスを指定します。
    - WANポートと宛先アドレス間の接続テストを有効にするかどうかを選択します。
    - プライマリポートへの接続に失敗した場合に、プライマリWANポートとバックアップWANポート間の自動スイッチオーバーをイネーブルにするかどうかを選択します。このタスクは、接続テストがイネーブルになっている場合にだけ使用できます。

図5 インターネット設定の構成





- インターネット接続を編集するには、そのインターフェイスの**Editアイコン**  をクリックします。
  - インターネット接続を削除するには、そのインターフェイスの**Deleteアイコン**  をクリックします。
  - インターネット接続を一括削除するには、接続を選択し、**Bulk Delete**をクリックします。
  - ポート接続をテストするには、**WAN Port Connectivity Test**フィールドでテストするアドレスを指定します。接続テストを有効にした場合、システムは特定の間隔でアドレスへの接続をテストし、平均待機時間トレンドグラフを生成します。
2. インターネットアドレスマッピングを設定するには、**Address Mapping**タブをクリックします。アドレスマッピングでは、内部サーバーのアドレス/ポート番号とNATアドレス/ポート番号間のマッピング関係を定義します。これにより、外部ユーザーはNATを介して内部サーバーにアクセスできます。
- アドレスマッピングを追加するには、**Add**をクリックし、必要に応じてマッピングを設定します。
    - インターネットに接続するインターフェイスを選択します。
    - プロトコルタイプとしてTCPまたはUDPを選択します。
    - インターネットアクセスポートを選択します。
    - 内部ネットワークサーバーのIPを指定します。
    - 内部ネットワークサーバーポートを指定します。

図6 インターネットアドレスマッピングの設定

The screenshot shows a configuration window titled "Add" with a close button in the top right corner. The window contains the following fields:

- Interface: GE1/0/23 (dropdown menu)
- Protocol Type: TCP (dropdown menu)
- Internet Access Port \*: 80 (text input)
- Internal Network: 192.168.1.1 (text input)
- Server IP \* (text input)
- Internal Network: 80 (text input)
- Server Port \* (text input)

At the bottom of the window are two buttons: "OK" and "Cancel".


- インターネットアドレスマッピングを削除するには、そのマッピングのDeleteアイコンをクリックします。
  - インターネットアドレスマッピングを一括削除するには、マッピングを選択して、**Bulk Delete**をクリックします。
3. DNSおよびDDNS設定を構成するには、**DNS**タブをクリックします。
- DNSサーバーを指定します。最大6つのDNSサーバーを指定できます。
  - DDNSを有効にし、DDNS URLを選択し、**Register Now**をクリックしてDDNSアカウントとパスワードを登録し、DDNSドメイン名を取得します。DDNSアカウント、パスワードおよびドメイン名を指定します。

図7 DNS設定の構成

External Network Internal Network Time Settings

Internet Address Mapping ? DNS

DNS Server ?  (+)

DDNS ?  On  Off

DDNS URL ZONEEDIT Register Now

DDNS Account \* ?  1-32 chars

DDNS Password \* ?  1-32 chars

DDNS Domain Name \* ?  1-253 chars

Submit Reset

### 内部ネットワーク設定の構成

- ローカル設定を構成するには、**Local**タブをクリックし、必要に応じて設定を構成します。
  - システムドメイン名を指定します。
  - VLAN-interface 1のローカルアドレス(IPアドレス)を指定します。
  - ゲストゲートウェイアドレス(VLAN-interface 100のIPアドレス)を指定します。

図8 ローカル設定の構成

(Sync from Device) Auto Refresh ? OFF

External Network Internal Network Time Settings

Local VLANs Ports DHCP DHCP Leases

System Domain Name \*  H3C

Local Address \*  192.168.105.113 Mask \*  255.255.255.0

Guest Gateway \*  172.16.100.1 Mask \*  255.255.252.0





Submit Reset


- VLAN設定を行うには、**VLANs**タブをクリックします。VLAN 1およびVLAN 100は削除できません。



- VLANを追加するには、**Add VLAN**をクリックし、必要に応じてVLANを設定します。
  - VLAN IDを指定します。
  - VLANインターフェイスのIPを指定します。
  - サブネットマスクを指定します。
  - 説明を指定してください。疑問符(?) は使用できません。

図9 VLANの追加

- VLANのメンバーポート情報を表示するには、**Member Ports**フィールドの番号をクリックします。
  - 特定のVLANを削除するには、**Custom Delete**をクリックし、削除するVLANのIDを指定します。
  - VLANを一括削除するには、VLANを選択して、**Bulk Delete**をクリックします。
  - 特定のVLANを削除するには、そのVLANのDeleteアイコン  をクリックします。
  - VLANを編集するには、そのVLANのEditアイコン  をクリックします。
3. ポート設定を構成するには、**Ports**タブをクリックします。開いたページに、ポート構成が表示されます。
- ポートを編集するには、そのポートのEditアイコン  をクリックします。リンクタイプ、PVID、許可VLAN、ポート分離、およびPoEを編集できます。
4. DHCP設定を構成するには、DHCPタブをクリックします。
- 開いたページには、IPセグメント、リース、割り当てられたアドレスなどのDHCP設定が表示されます。
- DHCPサーバー設定を設定するには、エントリのEditアイコン  をクリックします。IPアドレスリース、アドレスプール開始アドレス、アドレスプール終了アドレス、予約済みIPアドレス、およびDNSサーバーを設定できます。

- VLANのスタティックバインディングを設定するには、**Static Binding**アイコン  をクリックします。  
IPアドレスとMACアドレスの間にスタティックバインディングを追加します。
- 5. DHCPリースを表示するには、**DHCP Leases**タブをクリックします。  
開いたページには、IP割り当て方法やリースの残り時間など、DHCPリースに関する情報が表示されます。

#### 時間設定の構成

1. 時間設定を構成するには、**Time Settings**タブをクリックし、必要に応じて設定を構成します。
  - タイムゾーンを選択します。
  - NTPを有効にするかどうかを選択します。
  - 推奨およびカスタムNTPサーバーを指定します。最大5つのカスタムNTPサーバーを指定できます。
2. **Apply**をクリックします。

#### サービス設定の構成




1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > ACs > Service Settings**を選択します。
2. 必要に応じて、DPIレポート統計情報(DRS)を有効にします。  
この機能をイネーブルにすると、**Endpoints > User Analysis > Behavior Analysis** ページにアクセスして、ユーザーがアクセスしたアプリケーションおよびWebサイトに関する統計情報を表示できます。
3. WLANプローブを有効または無効にするには、APを選択して、**Enable/Disable WLAN Probe**をクリックします。

#### ACの一括設定

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > ACs > Bulk Settings**を選択します。
2. **GUI**または**CLI**をクリックします。

#### △注意:

専門家の指導の下でCLI機能を使用する。

3. 構成テンプレートを追加するには、**Add**をクリックし、必要に応じてテンプレート設定を構成してから、**Save**をクリックします。構成テンプレートを適用するには、表示される確認ダイアログボックスで**OK**をクリックし、ターゲットデバイスを選択してから、**Apply**をクリックします。
4. 作成した構成テンプレートを適用するには、そのテンプレートの**Apply**アイコン  をクリックし、作業ウィンドウの右上隅から支店を選択し、ターゲットデバイスを選択してから適用をクリックします。
5. テンプレートの配布結果を表示するには、**History**をクリックします。適用に失敗した履歴テンプレートを再適用するには、**Reapply**をクリックします。履歴をエクスポートするには、**Export**をクリックします。
6. 設定テンプレートを編集するには、そのテンプレートの**Edit**アイコン  をクリックします。
7. 設定テンプレートを削除するには、そのテンプレートの**Delete**アイコン  をクリックします。

# クラウド管理対象APの設定

## ワイヤレスサービスの設定

### WLAN設定ページにアクセスする


1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Cloud APs > WLAN Settings**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。

### リージョンコードを設定する

デバイスの実地の場所に基づいてリージョンコードを選択し、**OK**をクリックします。

リージョンコードは、無線の動作帯域、チャンネル、および送信電力を決定します。指定するリージョンコードが、地域の規制に違反していないことを確認してください。

### Wi-Fi設定を構成する

1. **Wi-Fi settings**タブをクリックします。
2. ワイヤレスサービス設定を構成するには、ワイヤレスサービスフィールドの下向きの山形のアイコンをクリックします。

開いたリストには、すべてのサービスまたは有効なサービスが表示されます。


  - サービスを有効または無効にするには、サービスを選択して、**Enable Service**または**Disable Service**をクリックします。
  - SSIDを表示または非表示にするには、サービスを選択し、**Hide SSID**または**Show SSID**をクリックします。
  - ワイヤレスサービスを編集するには、サービス名をクリックします。必要に応じて、自動SSID、SSID、サービスステータス、転送モード、暗号化、認証設定などのサービスパラメータを設定します。

---


### 注:

自動SSIDがイネーブルになっている場合は、AP名を手動で変更した後、またはAPをインポートした後で、**Auto SSID Setting Sync**をクリックして変更をデバイスに展開する必要があります。

---

3. ホワイトリストおよびブラックリストを設定するには、ドメイン名のホワイトリストおよびブラックリストフィールドの下向きの山形のアイコンをクリックします。

ホワイトリストのドメイン名は認証されず、ブラックリストのドメイン名からのアクセスは禁止されます。ホワイトリストとブラックリストの両方にドメイン名を追加すると、ブラックリストエントリが有効になります。

ベストプラクティスとして、認証を必要としないすべてのドメイン名をホワイトリストに追加します。
4. 詳細設定を構成するには、詳細設定フィールドの下向きの山形のアイコンをクリックし、次の機能を構成して**OK**をクリックします。
  - **5GHz-Preferred**: デュアルバンドクライアントが5 GHz無線に優先的にアクセスできるようにします。
  - **5GHz Load Balance**: アソシエートされたクライアント数が40に達し、無線と別の5GHz無線との間のクライアント量ギャップが到達した場合に、5GHz無線がSSIDを非表示にします。関連付けられたクライアントの数量または数量ギャップが対応するしきい値を下回った場合、SSID非表示は無効になります。

- **WLAN Probe:** デバイスがワイヤレスパケットをスヌーピングして、ワイヤレス環境を監視できるようにします。

### ネットワークプランニング設定の構成

1. **Network Planning**タブをクリックします。
2. サイトのシナリオを選択します。各シナリオでは、一連のデフォルト設定が定義されます。シナリオ・オプションには次のものがあります。
  - **High Density Coverage:** 大規模な会議室、食堂、展示ホール、コロケーションオフィスなど、高密度のAP配置を指定します。
  - **Hotels:** 1つのAPが1~2つの部屋をカバーするシナリオに適用されます。
  - **Office:** 1つのAPが1~2つの部屋をカバーするシナリオに適用されます。
  - **Shops:** 十分なチャネルリソースがある低密度AP展開に適用します。
  - **Default:** デフォルトの展開を指定します。ほとんどのシナリオに適用できます。
  - **Custom:** カスタマイズされた無線帯域幅および電力設定を使用します。
3. 無線設定を編集するには、クラウド管理APの**Edit**アイコンをクリックし、必要に応じて無線の状態、チャネル、電力、および帯域幅を設定します。

### Oasisモードを有効にする

デフォルトでは、**fit AP**がACに登録されていない場合、**fit AP**はCloudnetプラットフォームに初めて接続した後、自動的にクラウド管理APとして動作します。**fit AP**のモードを手動でcloudに変更するには、最初に**Oasis**モードを有効にする必要があります。

#### 制約事項とガイドライン

このタスクをサポートするのは、Release 2433P03の**Fit AP**だけです。

**Fit AP**がCloudnetプラットフォームに追加されていることを確認します。**Fit AP**をCloudnetプラットフォームに追加するには、**Network > Devices**ページにアクセスし、**Add**をクリックします。

#### 手順

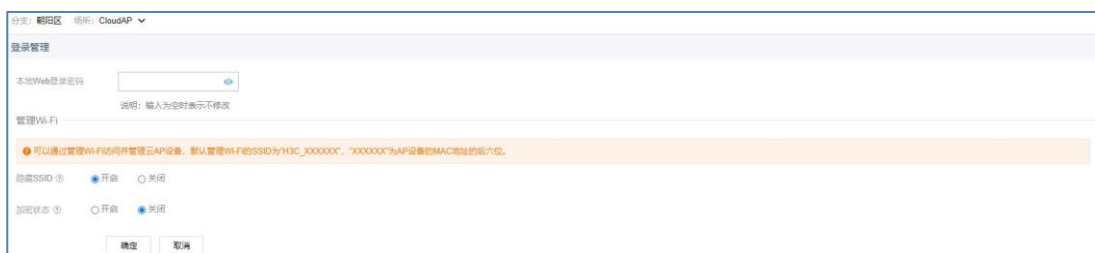
1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Cloud APs > Oasis Mode**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. Oasisモードを有効にします。

### ログイン設定の管理

#### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Cloud APs > Login**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. ローカルWebアクセス用のパスワードを設定し、管理Wi-Fi設定を行います。  
管理Wi-Fiを使用して、クラウド管理のAPにアクセスして管理できます。管理Wi-FiのデフォルトSSIDは**H3C\_XXXXXX**です。ここで、XXXXXXはAPのMACアドレスの下6桁です。

図10 ログイン設定の管理



### パラメータ



- **Password for Local Web Access:** クラウド管理されたAPのローカルWebインターフェイスにアクセスするためのパスワードを設定します。パスワードは大文字と小文字を区別する10～53文字の文字列で、大文字、小文字、数字、特殊文字のカテゴリのうち少なくとも2つを使用する必要があります。パスワードには、ユーザー名やユーザー名の逆文字を含めることはできません。
- **Hide SSID:** クライアントがアクティブスキャンによってSSIDを検出できないようにします。WLANにアクセスするには、クライアントはSSIDを入力してパッシブスキャンを実行する必要があります。これにより、ネットワークセキュリティが強化されます。
- **Encryption:** ネットワークセキュリティを強化するために、システムがクライアントトラフィックを暗号化できるようにします。

## ルーターの設定

### 内蔵AC用のワイヤレスサービスの設定

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Routers > Wireless Services**を選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。
3. ワイヤレスサービスを構成します。詳細については、「[ワイヤレスサービスの設定](#)」を参照してください。

### ファットAP用のワイヤレスサービスの設定

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Routers > Fat APs**を選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。
3. ワイヤレスサービスを追加するには、**Add**をクリックし、必要に応じてワイヤレスサービスの設定を構成し、**OK**をクリックします。
4. ワイヤレスサービスを編集するには、そのワイヤレスサービスの**Edit**アイコンをクリックします。
5. ワイヤレスサービスを削除するには、そのワイヤレスサービスの**Delete**アイコンをクリックします。
6. ローカルで作成されたワイヤレスサービスに関する情報をCloudnetのプラットフォームに同期するには、**Sync SSID Info**をクリックします。  
同期できるのは、SSIDが設定されているワイヤレスサービスだけです。

### AP設定の構成

#### 制約事項とガイドライン

バージョン5418以降のルーターだけがこの作業をサポートしています。

APリストには、自動APから変換されたAPを含め、手動APだけが表示されます。

## 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Routers > AP Settings**の順に選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。
3. APを設定するには、そのAPの**Edit**アイコンをクリックします。APのAP名、状態、チャンネル、電力、または帯域幅のリンクをクリックして、特定のフィールドを編集することもできます。
4. ローカルに設定されたAP設定をCloudnetに同期するには、**Sync**をクリックします。
5. 表示されたAP情報をエクスポートするには、**Export**をクリックします。

## WLANセキュリティの設定

クライアントのブラックリストまたはホワイトリストを設定するには、次の作業を実行します。ブラックリストは、デバイスが提供する無線サービスへのクライアントのアクセスを禁止し、ホワイトリストは、指定されたクライアントだけに無線サービスへのアクセスを許可します。ブラックリストとホワイトリストの両方を設定すると、ホワイトリストだけが有効になります。

### 制約事項とガイドライン

最大1024個のブラックリストエントリまたはホワイトリストエントリを追加できます。

## 手順






1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Routers > WLAN Security**を選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、デバイスを選択すると、**Blacklist**タブが表示されます。
3. 必要に応じてブラックリストを設定します。
  - ブラックリストにクライアントを追加するには、**Add**をクリックします。
  - ブラックリストからクライアントを削除するには、クライアントを選択し、**Bulk Delete**をクリックします。
  - デバイスに設定されているブラックリストエントリを同期するには、**Sync**をクリックします。
4. ホワイトリストを設定するには、**Whitelist**タブをクリックします。
  - クライアントをホワイトリストに追加するには、**Add**をクリックします。
  - ホワイトリストからクライアントを削除するには、クライアントを選択し、**Bulk Delete**をクリックします。
  - デバイスに設定されているホワイトリストエントリを同期するには、**Sync**をクリックします。

## 基本的なネットワーク設定を構成する

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Routers > Basic Settings**を選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。**Local**タブが表示されます。
3. ローカルで設定された基本的なネットワーク設定をCloudnetに同期するには、**Sync from Device**をクリックします。
4. **Local**タブで、次のローカル設定を行います。
  - **System Domain Name:** デバイスの名前。
  - **Local Address:** デバイス上のVLANインターフェイス1のIPアドレス。
  - **Mask:** IPアドレスマスク。
5. LANの設定を行うには、**LAN**タブをクリックします。

VLAN 1は削除できません。

- VLANを追加するには、**Add**をクリックし、必要に応じてVLANを設定します。

- VLAN IDを指定します。
  - VLANインターフェイスのIPアドレスを指定します。
  - インターフェイスIPアドレスのサブネットマスクを指定します。
  - VLANの説明を指定します。疑問符(?) は使用できません。
  - LANインターフェイスを追加するには、**Add**をクリックし、**LAN**タブをクリックして、必要に応じてLANインターフェイスを設定します。
    - インターフェイスを選択します。
    - インターフェイスのIPアドレスを指定します。
    - インターフェイスIPアドレスのサブネットマスクを指定します。
  - VLANのメンバーポートを表示するには、**Member Ports**カラムの番号リンクをクリックします。
  - 特定のVLANを削除するには、**Custom Delete**をクリックし、削除するVLANのIDを指定します。
  - VLANまたはLANインターフェイスを一括削除するには、VLANまたはLANインターフェイスエントリを選択して、**Bulk Delete**をクリックします。
  - VLANまたはLANインターフェイスを削除するには、そのVLANまたはLANインターフェイスの**Delete**アイコンをクリックします。
  - VLANまたはLANインターフェイスを編集するには、そのVLANまたはLANインターフェイスの**Edit**アイコンをクリックします。
6. ポート設定を構成するには、**Ports**タブをクリックします。
- 開いたページに、ポート構成が表示されます。
- ポートを編集するには、そのポートの**Edit**アイコン をクリックします。リンクタイプ、PVID、許可VLAN、ポート分離、およびPoE設定を編集できます。
7. DHCP設定を構成するには、**DHCP**タブをクリックします。
- 開いたページには、IPセグメント、リース、割り当てられたアドレスなどのDHCP設定が表示されます。
- DHCPサーバー設定を設定するには、エントリの**Edit**アイコン をクリックします。IPアドレスリース、アドレスプール開始アドレス、アドレスプール終了アドレス、予約済みIPアドレス、およびDNSサーバーを設定できます。
  - 静的バインディングを構成するには、エントリの**Static Binding**アイコンをクリックします。IPアドレスとMACアドレスの間にスタティックバインディングを追加します。
  - すべてのアドレスプールからIPアドレスを予約するには、**Global Reserved Addresses**をクリックします。
8. DHCPリースを表示するには、**DHCP Leases**タブをクリックします。
- 開いたページには、IP割り当て方法やリースの残り時間など、DHCPリースに関する情報が表示されます。
9. 時間設定を構成するには、**Time Settings**タブをクリックします。
- タイムゾーンを選択します。
  - NTPを有効にするかどうかを選択します。
  - 推奨NTPサーバーとカスタムNTPサーバーを指定します。

## サービス設定の構成

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Routers > Service Settings**を選択します。
2. WLANプローブを有効または無効にするには、APを選択して、**Enable/Disable WLAN Probe**をクリックします。

## VPN設定の構成


1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Routers > VPN**を選択します。
2. VPN設定を構成します。

## 一括設定の構成

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Routers > Bulk Settings**の順に選択します。
2. 一括設定を構成します。詳細については、「[ACの一括設定](#)」を参照してください。

# スイッチの設定









## スイッチの概要を表示する


1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Switches > Summary**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。  
開いたページには、オンライン状態、デバイス名、SN、タイプ、ソフトウェアバージョン、支店、サイトなど、サイト内のスイッチに関する統計情報が表示されます。
3. デバイスを管理するには、そのデバイスの**Basic Settings**アイコン をクリックします。

## 基本設定の構成

1. 左側のナビゲーションペインで、**Settings > Switches > Basic Settings**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。  
開いたページには、基本情報、パネル情報、インターフェイス設定、およびインターフェイスリストが表示されます。  
スイッチに関する基本情報には、デバイス名、モデル、MACアドレス、デバイスSN、およびバージョンが含まれます。  
**Panel Info**領域には、スイッチのソフトウェアバージョン、インターフェイスタイプと状態、およびPoE状態の情報が表示されます。
3. **Panel Info**領域で次のタスクを実行します。
  - スイッチパネルのポート状態の自動リフレッシュを有効にするには、**Auto Refresh**を選択します。スイッチパネルのポート状態は、1時間に5分ごとにリフレッシュされます。
  - スイッチのモジュール情報を表示するには、**Member**リストからスイッチを選択し、**Module**リストからモジュールを選択します。
  - スイッチの基本設定をCloudnetに同期させるには、**Synchronize**をクリックします。
  - PoEインターフェイスを一括して再起動するには、1つまたは複数のインターフェイスを選択し、**Bulk Restart PoE Interfaces**をクリックします。
4. **Summary**タブで、次のタスクを実行します。
  - a. 次の情報を含む、スイッチ上のインターフェイスに関する統計情報を表示します。
    - インターフェイスタイプ
    - リンク状態
    - PoEがサポートされているかどうか



- インバウンドレートとアウトバウンドレート
  - インバウンドとアウトバウンドのユニキャスト
  - インバウンドおよびアウトバウンドの非ユニキャスト
  - 廃棄されたインバウンドおよびアウトバウンドの非エラーパケット
- b. インターフェイスリストに表示されるカラムをカスタマイズするには、+/-をクリックします。
  - c. 特定のインターフェイスに関する統計情報をクリアするには、**Bulk Delete**をクリックします。すべてのインターフェイスに関する統計情報をクリアするには、**Clear All**をクリックします。
5. インターフェイスを管理するには、デバイスパネルでそのインターフェイスを選択します。**Interface Management**タブ上で選択します。
  6. 必要に応じて、管理ステート、デュプレックスモード、インターフェイスタイプ、PVID、レート、フロー制御、帯域幅などのインターフェイス設定を設定し、**Submit**をクリックします。  
設定された設定がインターフェイスリストに表示されます。
  7. VLAN設定を管理するには、**VLANs**タブをクリックします。  
開いたページには、VLAN ID、タグなしポート、タグ付きポート、VLANインターフェイスIP、サブネットマスク、VLANの説明などのVLAN情報が表示されます。
    - VLAN内のすべてのタグ付きポートまたはタグなしポートを表示するには、**Tagged Ports**か、そのVLANの**Untagged Ports**カラムのアイコンをクリックします。
    - VLANを編集するには、そのVLANの**Actions**カラムで**Edit**アイコンをクリックします。
    - VLANを削除するには、そのVLANの**Actions**カラムにある**Delete**アイコンをクリックします。
    - 指定したVLANを削除するには、**Custom Deletion**をクリックし、VLAN IDまたはVLAN ID範囲を入力して、**OK**をクリックします。
    - VLANを追加するには、**Add**をクリックします。
  8. リンクアグリゲーションを構成するには、**Link Aggregation**タブをクリックします。  
開いたページには、アグリゲーショングループID、説明、アグリゲーションモード、メンバーポートなどのリンクアグリゲーション情報が表示されます。
    - グループのすべてのメンバーポートを表示するには、そのグループの**Member Ports**カラムのアイコンをクリックします。
    - 集約グループを編集するには、そのグループの**Actions**列の**Edit**アイコンをクリックします。集約タイプ、集約モード、説明およびメンバーポートを編集できます。
    - 集約グループを削除するには、そのグループの**Actions**カラムの**Delete**アイコンをクリックします。
    - 集約グループを追加するには、**Add**をクリックします。
    - 特定の集約グループを削除するには、グループを選択し、**Bulk Delete**をクリックします。
  9. ポートアイソレーションを設定するには、**Port Isolation**タブをクリックします。  
開いたページには、分離グループIDやメンバーポートなどのリンクアグリゲーション情報が表示されます。
    - グループのすべてのメンバーポートを表示するには、そのグループの**Port List**カラムのアイコンをクリックします。
    - アイソレーショングループを編集するには、そのグループの**Actions**列の**Edit**アイコンをクリックします。メンバーポートを編集できます。

- アイソレーショングループを削除するには、そのグループのActionsコラムのDeleteアイコン  をクリックします。
  - アイソレーショングループを追加するには、Addをクリックします。
  - 特定のアイソレーショングループを削除するには、グループを選択し、Bulk Deleteをクリックします。
10. PoE設定を行うには、PoEタブをクリックします。
- PIタブには、検出状態、現在の電力、ピーク電力、ポートプライオリティなど、PIに関する統計情報が表示されます。
- PIを設定するには、デバイスパネルでそのPIを選択し、PoEを有効または無効にし、必要に応じてポートプライオリティや最大電力などのPI設定を行います。
  - PIを再起動するには、そのPIのRestart PIコラムでRestartをクリックします。
  - 複数のPIを再起動するには、PIを選択して、Bulk Restart PIをクリックします。
11. PSEを管理するには、PSEタブをクリックします。
- 非標準PD検出を有効または無効にするには、Non-Standard PD DetectionフィールドでOnまたはOffをクリックします。
  - 電源アラームのしきい値を指定し、Submitをクリックします。

#### 一括設定の構成

1. 左側のナビゲーションペインで、Settings > Switches > Bulk Settingsを選択します。
2. 一括設定を構成します。詳細については、「[ACの一括設定](#)」を参照してください。

#### ワイヤレスサービスの設定

1. 左側のナビゲーションペインで、Settings > Switches > Wireless Servicesを選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。
3. ワイヤレスサービスを構成します。詳細については、「[ワイヤレスサービスの設定](#)」を参照してください。

#### AP設定の構成

1. 左側のナビゲーションペインで、Settings > Switches > AP Settingsの順に選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。
3. AP設定を構成します。詳細については、「[AP設定の構成](#)」を参照してください。

## メンテナンス

### デバイスソフトウェアのアップグレード

#### 制約事項とガイドライン

アップグレードできるのは、オンラインデバイスだけです。

オフラインダウンロードは、デバイスごとのアップグレードでのみ使用できます。




推奨バージョンは、アップグレードのリスクとパフォーマンスに基づいて推奨される最適なバージョンです。推奨バージョンはデフォルトで選択されています。

#### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、Maintain > Upgradeを選択します。

2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. **Upgrade by Device**タブまたは**Upgrade by Model**タブをクリックし、バージョン番号を選択し、デバイスまたはモデルを選択して、**Upgrade**をクリックします。
4. 表示されたダイアログボックスでアップグレード方法を選択し、**OK**をクリックします。次のオプションがあります。  
**Upgrade and Reboot**、**Upgrade**、**Save**、**Reboot**、および**Upgrade Only**。
5. ソフトウェアバージョンをダウンロードするには、バージョン番号を選択し、デバイスまたはモデルを選択して、**Offline Download**をクリックします。
6. アップグレードの詳細を表示するには、**Upgrade Details**タブをクリックします。
  - **Devices Being Upgrade**領域には、アップグレード中のデバイスの現在のソフトウェアバージョン、アップグレードの進行状況、およびアップグレードの開始時刻が表示されます。
  - **Upgraded Devices**領域には、アップグレードされたデバイスの現在のソフトウェアバージョン、アップグレード状態、および障害理由が表示されます。

## プライベートソフトウェアバージョンの管理

1. 左側のナビゲーションペインで、**Maintain > Private Versions**を選択します。  
開いたページには、バージョン名、該当するデバイスモデル、カテゴリ、およびデバイス、およびプライベートソフトウェアバージョンのバージョン説明が表示されます。
2. プライベートソフトウェアバージョンを管理するには、次のタスクを実行します。
  - バージョンを削除するには、そのバージョンの**Actions**列の**Delete**アイコン  をクリックします。1つまたは複数のバージョンを一括して削除するには、バージョンを選択し、バージョンリストの先頭にある**Delete**をクリックします。
  - バージョンを編集するには、そのバージョンの**Actions**列の**Edit**アイコン  をクリックします。画像ファイル以外のすべての情報を編集できます。
  - バージョンをアップグレードするには、そのバージョンの**Actions**列の**Upgrade**アイコン  をクリックします。詳細については、「[デバイスソフトウェアのアップグレード](#)」を参照してください。
  - バージョンリストを更新するには、バージョンリストの上にある**Refresh**をクリックします。
3. バージョンをアップロードするには、**Version Upload**タブをクリックし、次のパラメータを設定して、**OK**をクリックします。
  - **Version Name**: バージョンの名前を指定します。
  - **Version Description**: バージョンの説明を指定します。
  - **Device Model**: デバイスカテゴリを選択してからモデルを選択するか、フィールドに **model** キーワードを入力してデバイスモデルをフィルターリングしてからモデルを選択します。
  - **Image File**: **Select File** をクリックしてファイルを選択し、**Open** をクリックします。最大10バージョンまでアップロードできます。

# CLIヘルパーを使用する

## 制約事項とガイドライン

このタスクは、AC、ルーター、スイッチ、および特定のクラウド管理対象APだけで使用できます。非Telnetモードでは、次の制約事項および注意事項に従ってください。

- ユーザー名とパスワードを使用して、ACに直接ログインして設定できます。
- コマンドを完了したりログを表示したりするために、CLIのようにTabを押さないでください。設定の保存やファイルの削除などの対話型操作はサポートされていません。
- CLIヘルパーの使用中にエラー(コマンド入力エラーなど)が発生した場合は問題を解決するには、右下隅のTroubleshootを実行します。

Telnetモードを使用するには、最初にACでTelnetをイネーブルにする必要があります。

## 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Maintain > CLI Helper**を選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。
3. 基本的なデバイス情報、ネットワーク情報、またはモニタリング情報を表示するには、ページの右側にある **Common Commands** 領域の **Basic Info**、**Network Info**、または **Monitoring Info**をクリックします。
4. Telnetモードをイネーブルにするには、トグルボタンをクリックし、**Connect**をクリックしてから、ユーザー名とパスワードを入力してACにログインします。
5. 操作レコードをエクスポートするか、Telnetモードでキャッシュサイズを設定するには、**Export Records**を選択するか**Operation Records**リストから**Cache**を設定します。

## ファイルシステムへのアクセス

このタスクは、AC、ルーター、スイッチ、および特定のクラウド管理対象APだけで使用できます。ファイルシステムにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. 左側のナビゲーションペインで、**Maintain > File System**を選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。
3. **General**または**Advanced**をクリックして、表示モードを切り替えます。
4. 一般モードでは、特定のファイルタイプの**Manage**をクリックします。
5. ファイルをアップロードするには、ACに十分なスペースがあることを確認し、**Upload**をクリックして、アップロードするファイルを選択します。ファイルのアップロードは、拡張モードでのみ使用できます。
6. ファイルをダウンロードするには、ファイルを選択し、**Download**をクリックします。
7. ファイルの名前を変更するには、ファイルを選択し、**Rename**をクリックします。フォルダの名前は変更できません。
8. ファイルを削除するには、ファイルを選択して**Delete**をクリックします。削除されたファイルは復元できません。この関数は注意して使用してください。



## 設定の復元

このタスクは、AC、ルーター、スイッチ、および特定のクラウド管理対象APだけで使用できます。デバイス設定を復元するには、次の手順を実行します。

1. 左側のナビゲーションペインで、**Maintain > Restore**を選択します。
2. 作業ペインの上部から支店、サイト、およびデバイスを選択します。
3. 復元ポイントを追加するには、**Create**をクリックして理由を入力し、このファイルを次のスタートアップコンフィギュレーションファイルとして使用するかどうかを指定して、**OK**をクリックします。
4. デバイスの現在のコンフィギュレーションを指定した復元ポイントに復元するには、ターゲットコンフィギュレーションファイルを選択して、**Restore**をクリックします。
5. 自動バックアップを構成するには、**Auto Backup**をクリックし、バックアップ間隔を指定してから、バックアップコピーの最大数を指定します。詳細は、「[サービスを有効または無効にする](#)」を参照してください。

バックアップコピーの最大数は、設定を復元するためにCloudnetに保存する設定ファイルの最大数です。

バックアップ間隔として**Weekly**を選択すると、毎週日曜日に設定が自動的にバックアップされます。バックアップ間隔として**Monthly**を選択すると、毎月1日の01:00~04:00に設定が自動的にバックアップされます。デバイスがオフラインの場合、システムは06:00~09:00、11:00~13:00、19:00~21:00に再試行します。



6. 復元ポイントに関する詳細情報を表示するには、**Details**アイコン  をクリックします。
7. 復元ポイントを削除するには、**Delete**アイコン  をクリックします。

## 構成の比較

### 制約事項とガイドライン

インポートできるのは、サイズが10M未満のコンフィギュレーションファイルだけです。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Maintain > Compare Cfg**を選択します。
2. ローカル設定を比較するには、**Load Local Configuration File**をクリックするか、右上隅にある**Load Local Configuration File**アイコン  をクリックして、ローカルファイルを選択します。
3. デバイスの設定を比較するには、次の作業を実行します。
  - a. **Read Device Configuration File**をクリックするか、右上隅にある**Read Device Configuration File**アイコン  をクリックします。
  - b. 表示されたダイアログボックスで、サイトを選択し、デバイスを選択します。構成として**Running**、**Local**、**Cloud-Backed up**を選択し、**OK**をクリックします。デバイスがオフラインの場合は、**Cloud-Backed up**のみを選択できます。

構成の違いが強調表示され、異なるコマンド行の数がページの下部に表示されます。

## デバイスの保守

### 制約事項とガイドライン



再起動できるのはオンラインデバイスだけです。

## 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Maintain > Device Operation**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. デバイスタブをクリックします。
4. 表示されるページで、デバイスを選択します。
5. デバイス上の実行コンフィギュレーションを保存してからデバイスを再起動するには、**Save Config and Restart**をクリックします。再起動プロセス中、デバイスは使用できません。このオプションは注意して使用してください。
6. デバイスをすぐに再起動するには、**Restart**をクリックします。この操作により、デバイス上の未保存の設定が削除されます。再起動プロセス中は、デバイスは使用できません。このオプションは注意して使用してください。
7. スケジュールされた再起動を設定するには、**Scheduled Restart**をクリックし、再起動ポリシーを選択して、スケジュールを設定します。この操作により、デバイス上の未保存の設定が削除されます。再起動プロセス中、デバイスは使用できません。このオプションは注意して使用してください。
8. スケジュールされた再起動設定を削除するには、**Remove Scheduled Restart Settings**をクリックします。
9. 設定を保存するには、**Save Config**をクリックします。
10. デバイスをCloudnetプラットフォームに再接続するには、**Reset Cloud Connection**をクリックします。Cloudnet接続エラーが発生した場合は、このオプションを使用します。

## ヘルスチェックを実行する

1. 左側のナビゲーションペインで、**Maintain > Health Check**を選択します。
2. ヘルスチェックを設定するには、**Configure Health Check**をクリックします。
3. **Health Check Items**タブで、必要に応じてヘルスチェック項目を選択し、**Save**をクリックします。必須項目は選択できません。
4. **Devices to Check**タブをクリックし、次のタスクを実行してから、**Save**をクリックします。
  - デバイスをヘルスチェックリストに追加するには、**Add Devices**をクリックし、**By device**または**By Site**を選択し、ターゲットデバイスを選択してから、**Add Selected Devices**または**Add Selected Sites**をクリックします。すべてのデバイスまたはすべてのサイトを追加するには、**Add all Devices**または**Add All Sites**をクリックします。
  - ヘルスチェックリストからデバイスを削除するには、ターゲットデバイスを選択して、**Delete Devices**をクリックします。
  - ヘルスチェックリストからサイトを削除するには、ターゲットサイトを選択し、**Delete Sites**をクリックします。
5. **Health Check**ページで、**Health Check Tasks**をクリックします。
6. ヘルスチェックスケジュールを選択し、**OK**をクリックします。次のオプションがあります。
  - **Immediate**: デバイスのヘルスチェックをただちに実行します。
  - **One-Off**: 特定の日の時点を選択すると、システムは指定された時点でヘルスチェックを実行します。
  - **Scheduled**: スケジュール、**By Day**、**By Week**、または**By Month**を選択してから、時点を選択します。

7. ヘルスチェックをキャンセルするには、**Cancel**をクリックします。
8. ヘルスチェックレポートを表示するには、**View History Report**をクリックします。  
開いたページには、ヘルスチェックレコードが表示されます。システムには、最大50のヘルスチェックレコードが保存されます。
  - ヘルスレコードを時間でフィルターリングするには、右上隅で時間範囲を選択します。
  - ヘルスチェックレコードを削除するには、そのレコードの**Actions**列の**Delete**アイコン  をクリックします。ヘルスチェックレコードを一括して削除するには、ヘルスチェックレコードを選択し、リストの先頭にある**Delete**をクリックします。
  - ヘルスチェックの詳細を表示するには、そのレコードの**Actions**カラムの**Details**アイコン  をクリックします。  
開いたページには、基本情報、デバイスリスト、およびヘルスチェックで検出された問題が表示されます。
  - ヘルスチェックレコードリストのデータを更新するには、**Refresh**をクリックします。

## ツールを使用してデバイスを管理する





### 制約事項とガイドライン

AP LED Quietモード設定を使用できるのは、ACおよびクラウド管理APIに関連付けられた**Fit AP**だけです。

パケットキャプチャは、ACに関連付けられた**Fit AP**だけで使用できます。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Maintain > Tools**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。
3. ping操作を実行するには、宛先アドレスを入力し、**Ping**ウィンドウで**Execute**をクリックします。で呼び出されます。
4. 高度なping機能を使用するには、**Advanced**をクリックし、宛先IPアドレス、送信元IPアドレス、パケットサイズ、およびパケット数を指定して、**Execute**をクリックします。  
実行結果リストにping結果が表示されます。
5. 成功したping操作の詳細を表示するには、そのping操作の**View Details**列で**View Details**をクリックします。詳細をグラフで表示するには、**Graph View**をクリックします。詳細を表で表示するには、**Table View**をクリックします。
6. tracert操作を実行するには、**Trace**タブをクリックし、宛先アドレスを入力して**Execut**をクリックします。
7. 高度なtracert機能を使用するには、**Advanced**をクリックし、宛先IPアドレス、送信元IPアドレス、宛先ポート、初期TTL、最大TTL、タイムアウト、およびパケット数を指定して、**Execute**をクリックします。
8. 成功したtracert操作の詳細を表示するには、そのtracert操作の**View Details**列の**View Details**をクリックします。詳細をグラフで表示するには、**Graph View**をクリックします。詳細を表で表示するには、**Table View**をクリックします。
9. AP LED Quietモードを設定するには、**AP LED Quiet Mode**タブをクリックします。
10. 表示されたページで、LED待機モードを有効にし、待機時間を選択して、**Submit**をクリックします。待機時間として**Custom**を選択した場合は、開始時間と終了時間を指定する必要があります。

11. パケットキャプチャを設定するには、**Capture**タブをクリックします。
12. **Capture Configuration**タブで、次のタスクを実行します。
  - パケットキャプチャ設定を追加するには、**Add**をクリックし、次のパラメータを設定します。設定のみを保存する場合は、**Save**をクリックします。設定を保存してパケットキャプチャを開始する場合は、**Save and Start**をクリックします。
    - **Configuration Name:** パケットキャプチャ設定の名前を指定します。
    - **Capture Type:** ワイヤレスのみ使用できます。
    - **Capture Mode:** 使用できるのはミラーリングのみです。このモードでは、システムは現在の作業チャンネルで送信されたパケットのみを取得し、ワイヤレスサービスは中断されません。
    - **AP:** このフィールドをクリックしてAPを選択するか、**Advanced Filter**をクリックしてAPを選択し、**OK**をクリックします。
    - **Radio:** APで無線を選択します。
    - **Channel:** APで無線を選択すると、APの作業チャンネルが自動的に選択されます。
    - **Duration:** パケットキャプチャの時間を指定します。時間が経過するか、キャプチャされたパケットのサイズが65536 KBに達すると、パケットキャプチャは自動的に停止します。
    - **Filter Rule:** フィルタールールを指定します。詳細は、このフィールドの右側の説明を参照してください。
  - キャプチャ構成を編集するには、その構成の**Actions**列の**Edit**アイコンをクリックし、必要に応じて設定を編集します。構成のみを保存するには、**Save**をクリックします。構成を保存してパケットキャプチャを開始するには、**Save and Start**をクリックします。
  - 取得構成を削除するには、その構成の**Actions**列の**Delete**アイコンをクリックします。1つ以上の取得構成を一括削除するには、構成を選択し、リストの一番上にある**Delete**をクリックします。
  - 取得構成をコピーするには、その構成の**Actions**列の**Copy**アイコンをクリックし、構成名を変更します。構成のみを保存するには、**Save**をクリックします。構成を保存してパケット取得を開始するには、**Save and Start**をクリックします。
  - パケットキャプチャタスクを開始するには、そのタスクの**Control**カラムで**Start**をクリックします。
  - パケットキャプチャリストを更新するには、**Refresh**をクリックします。システムがリストを自動的に更新できるようにするには、**Auto Refresh**を選択します。
13. パケットキャプチャレコードを表示するには、**Capture Records**タブをクリックします。キャプチャレコードをダウンロードするには、そのレコードの**Actions**カラムの**Download**アイコンをクリックします。



## デバイスの交換

デバイスコンフィギュレーションをCloudnetに同期し、デバイスに障害が発生した場合にデバイスを交換するには、次の作業を実行します。

デバイスを交換するには:

1. 左側のナビゲーションペインで、**Maintain > Replace Devices**を選択します。
2. 作業ペインの上部から分岐とサイトを選択します。



3. **Replacement**タブで、デバイスの**Actions**カラムにある**Sync Now**アイコンをクリックし、**Do Not Save**または**Save&Continue**を選択します。
4. システムが自動的にデバイス設定を同期するようするには、**Auto Sync**を有効にし、**Auto Sync Time**をクリックして自動同期時間を指定します。次に、デバイスがオンラインになったとき、または指定した時刻に設定の変更がCloudnetに同期されます。
5. デバイスの**Actions**カラムにある**Replacement**アイコンをクリックし、**Register New Device&Replace**または**Replace with Registered Device**を選択します。
6. APを交換するには、**Replace AP**をクリックし、古いAP SNと新しいAP SNを入力します。
7. 置換レコードを表示するには、**Records**タブをクリックします。ページをリフレッシュして、最新のレコードを表示できます。

## メッセージ

## アラームの管理

### 制約事項とガイドライン

デフォルトのアラームポリシーは編集できますが、削除できません。

### アラームの表示またはエクスポート

#### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Messages > Alarms**を選択します。  
**Alarm List**タブには、指定した時間範囲内で収集されたアラーム統計情報が表示されます。
2. アラームをフィルターするには、**Filter**をクリックし、フィルター条件を指定して、**Search**をクリックします。
3. アラームをエクスポートするには、**Export**をクリックします。  
アラームはExcelファイルにエクスポートされます。

#### パラメータ

- **Alarm Trend:** アラームトレンドをアラーム数量別に表示します。
- **Alarm Severity:** アラームの重大度別にアラームの分布を表示します。
- **Alarm Type Top 5:** アラーム数が最も多い5つのアラームタイプを表示します。
- **Alarm Info:** アラームリストを表示します。

### アラームの登録

#### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Messages > Alarms**を選択します。
2. **Subscription**タブをクリックします。
3. アラームポリシーを追加するには、**Add**をクリックし、必要に応じてポリシー設定を構成します。
4. アラームポリシーを編集するには、そのポリシーの**Edit**アイコンをクリックします。次に、必要に応じてポリシー設定を構成します。

#### パラメータ

- **By Area:** エリア別のアラーム生成を有効または無効にします。この機能を有効にすると、選択したエリア内のAPに対してだけアラームが生成されます。

- **Notification:** アラームを通知する方法を選択します。オプションは次のとおりです。
  - **Display but Not Push**
  - **Email:** 選択したアカウントにバインドされている電子メールアドレスにアラームEメールを送信します。システムは、サイト内のアラーム受信者に毎日最大50件のアラームEメールを送信し、すべてのサイト内のすべての受信者に毎日最大1000件のアラームEメールを送信できます。実際の数はこれより多い場合があります。
- **Triggered:** アラームを通知できる時間を選択します。
- **Maintenance:** アラームの通知または生成を禁止する時間範囲を選択します。
- **Accounts:** アラームを受信できるアカウントを選択します。
- **Alarm Info:** 通知するアラームのタイプと重大度を選択します。使用可能な重大度レベルには、**Tip**、**Info**、**Minor**、**Major**および**Critical**があります。デバイスCPU、デバイスメモリ、およびAPバルクドロップアラームの場合は、アラームしきい値も指定する必要があります。

## 操作ログまたはログインログを表示する

1. 左側のナビゲーションペインで、**Messages > Operation Logs**を選択します。
2. 操作ログを表示するには、**Operation Logs**タブをクリックします。**User Operation Logs**をクリックすると、サイトまたはデバイスのインポートログを表示できます。
3. ログインログを表示するには、**Login Logs**タブをクリックします。

## システムメッセージを表示する

左側のナビゲーションペインで、**Messages > System Messages**を選択します。

## 障害レポートの管理


このシステムを使用すると、ユーザーはQRコードをスキャンし、ネットワーク運用中に障害を報告できます。このタスクを実行して、報告された障害を表示、エクスポートおよび処理し、障害報告サブスクリプションを設定できます。

システムは、過去12か月間に生成された障害レポートを保存します。

### 障害レポート用のQRコードのエクスポート

1. 左側のナビゲーションペインで、**Messages > Fault Reports**の順に選択します。
2. **Export QR Code for Fault Reporting**をクリックします。
3. サイトを選択して、**Export**をクリックします。


### 詳細な障害レポート情報の表示

1. 左側のナビゲーションペインで、**Messages > Fault Reports**の順に選択します。  
開いたページには、サイト名、ロケーション、障害タイプ、ソース、レポート時刻、最新プロセスの時刻など、障害レポートに関する簡単な情報が表示されます。
2. 障害レポート**details**アイコン をクリックして、障害レポートを表示します。  
開いたページには、レポートに関する詳細情報が表示されます。レポートの処理状態と処理レコードを指定できます。

### 障害レポートを処理する

1. 左側のナビゲーションペインで、**Messages > Fault Reports**の順に選択します。

簡易情報ページで各レポートの処理状態を選択するか、詳細情報ページでレポートの処理状態とレコードを指定できます。

2. 障害レポートdetailsアイコン をクリックして、障害レポートを表示します。
3. 処理状態と処理レコードを指定します。
4. **Submit**をクリックします。

#### 障害レポートを処理する

1. 左側のナビゲーションペインで、**Messages > Fault Reports**の順に選択します。
2. メモ領域の**Alarm Subscription**リンクをクリックします。

詳細は、「[アラームの登録](#)」を参照してください。

## システム




### サービスを有効または無効にする

#### 制約事項とガイドライン








お客様の5412以降のバージョンのみがスマートO&Mをサポートしています。

設定の同期化は、クラウド管理されたAPに対してデフォルトでイネーブルになっています。ベストプラクティスとして、イネーブルのままにしておき、APでローカルに設定された設定を使用する場合だけディセーブルにします。

#### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**System > Service Switches**を選択します。
2. **Smart O&M**タブで、スマートO&Mを有効または無効にします。スマートO&Mの詳細については、「H3C Cloudnet Smart O&Mユーザーガイド」を参照してください。
3. デバイスの自動バックアップを有効にするには、**Auto Backup**タブをクリックし、そのデバイスの**Service State**カラムで**ON**を選択し、バックアップインターフェイスと最大バックアップコピーを指定して、**OK**をクリックします。複数のデバイスの自動バックアップを一括して有効にするには、デバイスを選択し、リストの先頭にある**On**をクリックし、バックアップインターフェイスと最大バックアップコピーを指定して、**OK**をクリックします。
4. デバイスの自動バックアップを無効にするには、そのデバイスの**Service State**カラムで**OFF**を選択し、表示されるダイアログボックスで**OK**をクリックします。複数のデバイスの自動バックアップを一括して無効にするには、デバイスを選択して、リストの先頭にある**Off**をクリックし、表示されるダイアログボックスで**OK**をクリックします。
5.  デバイスのバックアップ情報を表示するには、そのデバイスの**Action**カラムの**View**アイコンをクリックします。
6. リスト内に多数のレコードが存在する場合にデバイスのバックアップ情報を表示するには、リストの右上隅にあるアイコン をクリックし、デバイス名またはデバイスSNを指定します。
7. クラウド管理されたAPの設定同期をイネーブルまたはディセーブルにするには**Cloud-Managed AP Config Sync**タブをクリックします。
8. 表示されたページで、そのAPの**Service State**カラムで**ON**または**OFF**を選択し、**OK**をクリックします。クラウドで管理される複数のAPの設定同期を一括して有効または無効にするには、APを選択し、リストの上部にある**On**または**Off**をクリックして、**OK**をクリックします。
9. クラウド管理されたAPの設定を表示または編集するには、そのAPの**Actions**カラムの**View**アイコン をクリックします。

## ラベルを設定する

1. 左側のナビゲーションペインで、**System > Labels**を選択します。
2. **Add**をクリックします。ラベル名を入力し、色を選択して、**OK**をクリックします。さらにラベルを追加するには、 をクリックします。
3. APグループからラベルを同期するには、**Sync from Groups**タブをクリックし、**Obtain AP Groups for AC**、**Obtain AP Groups for Hotel**、または**Obtain AP Groups for Area**を選択して、デバイスを選択し、APグループを選択して、**OK**をクリックします。
4. ラベルを削除するには、そのラベルの**Actions**コラムの**Delete**アイコン  をクリックし、表示されるダイアログボックスで**OK**をクリックします。1つまたは複数のラベルを一括して削除するには、ラベルを選択し、ラベルリストの先頭にある**Delete**をクリックします。
5. ラベルを編集するには、そのラベルの**Actions**コラムの**Edit**アイコン  をクリックし、必要に応じてラベル名と色を編集して、**OK**をクリックします。
6. APからラベルをバインドするには、次の作業を実行します。
  - a. **Actions**カラムの**Bind**アイコン  をクリックするか、**Bound APs**の番号をクリックします。列に表示されます。
  - b. サイトを選択し、**Unbound APs**領域でラベルにバインドするAPを選択して、 をクリックし、**OK**をクリックします。
  - c. ラベルをAPからバインド解除するには、**Bound APs**領域でAPを選択し、 をクリックして、**OK**をクリックします。
7. ラベルをフィルターするには、リストの右上隅の  をクリックし、フィルター条件を入力します。

## サブアカウントの管理



### このタスクについて



Cloudnetプラットフォームには、5つのレベルのアカウントが用意されています。第1レベルのアカウントはテナント(スーパーアカウント)と呼ばれ、それ以外のレベルのアカウントはサブアカウントと呼ばれます。各テナントは最大500のサブアカウントを管理できます。親アカウントには次の権限があります。

- サブアカウントを管理します。
- サブアカウントおよびそのサブアカウントによって作成されたサイト(存在する場合)を表示します。
- サブアカウントに関する操作ログを表示します。

サブアカウントの場合、サポートされるCloudnet機能はそのロールによって決定され、管理可能な支店とサイトは親アカウントによって承認されます。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**System > Subaccounts**を選択します。
2. サブアカウントを追加するには、アカウント**Add**アイコン  をクリックし、必要に応じてサブアカウント設定を構成します。
3. サブアカウントに支店とサイトのアクセス許可を割り当てるには、そのアカウントの**Permission**アイコン  をクリックし、必要に応じて支店とサイトを選択します。

4. サブアカウントを編集するには、そのアカウントの**Edit**アイコン をクリックし、必要に応じてアカウント設定を構成します。
5. サブアカウントを削除するには、そのアカウントの**Delete**アイコン をクリックします。

## オープンプラットフォームの構成

1. 左側のナビゲーションペインで、**System > Open Platforms**を選択します。
2. サードパーティープラットフォーム用のオープンAPIをアクティブ化するには、**Activate**をクリックします。オープンAPIがアクティブ化されている場合、ページに認証キーが表示されます。
3. APIファイルをダウンロードするには、**Download File**をクリックします。このファイルには、H3C CloudnetプラットフォームAPIに関する情報と、API関連の設定方法が含まれています。
4. 認証されたユーザー情報をプッシュするには、**Edit**をクリックします。この機能を使用するには、ユーザーが開発可能である必要があります。詳細は、「H3C Cloudnet認証ユーザーガイド」を参照してください。

## アカウントを管理する

### 制約事項とガイドライン

IPログイン制限を設定する場合は、次の制約事項および注意事項に従ってください。

- この機能が設定されている場合、アカウントを使用してCloudnetにログインできるのは、特定のIPアドレスだけです。ログイン要求が、指定されたIP範囲以外のIPアドレスからのものである場合、ユーザー名またはパスワードのエラーが表示されます。
- IPログイン制限をイネーブルにすると、現在のネットワーク出力IPアドレスが表示され、デフォルトで許可範囲にそのアドレスが追加されます。
- 許可範囲として、最大30のIPアドレス範囲を追加できます。
- IPアドレスの各オクテットは、0~255の範囲の整数である必要があります。アドレスの最初のオクテットは、0、127、または224~225の範囲にはできません。

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**System > Account**を選択します。
2. **Account Management**タブで、必要に応じてアカウント設定を編集します。
  - **Basic Info**領域で、アカウントパスワード、電子メールアドレス、およびプロフィール写真を編集します。
  - **Service Info**領域で、業種を選択し、企業名を指定して、企業ロゴを編集します。
  - **Contact Info**領域で、連絡先アドレスを指定します。
3. セキュリティ設定を構成するには、**Account Security Settings**タブをクリックし、必要に応じてログイン電子メール通知、ログインロックアウト、およびIPログイン制限を構成します。
4. MSPアカウント設定を構成するには、**MSP Management**タブをクリックします。
  - 現在のアカウントを一般アカウントとして指定するには、**General Account**を選択し、MSP管理を許可するかどうかを選択し、その他の設定を指定して、**OK**をクリックします。

**Request Record**リストには、現在のアカウントのMSP管理要求が表示されます。要求の承認ステータスを表示し、エントリの取消アイコンをクリックすると、承認を取り消すことができます。

- 現在のアカウントをMSPアカウントとして指定するには、**MSP Account**を選択し、自動承認を有効にするかどうかを選択してから、**Manage Tenants**をクリックして**Tenants**ページにアクセスします。

自動承認を使用すると、すべてのホスティング要求を自動的に承認できます。テナント管理の詳細については、「[テナントの管理](#)」を参照してください。

## デバイスのバインドを解除する

5420以降のAC、ルーター、および特定のクラウド管理AC、ルーター、および特定のクラウド管理APだけです。

Cloudnetプラットフォームからデバイスをアンバインドできるのはテナントだけです。テナントは、1日に最大5つのアンバインド操作を実行できます。

デバイスアンバインドの詳細については、『H3C Cloudnet 導入ガイド』を参照してください。

## エンドポイント資産の管理

1. トップナビゲーションバーで、**Service > Assets**を選択します。
2. 左側のナビゲーションペインで、**Endpoints**を選択します。開いたページに資産リストが表示されます。
3. アセットをフィルターするには、**Filter**をクリックし、エンドポイントタイプ、オンライン状態、エンドポイント名などのフィルターを指定して、**OK**をクリックします。
4. アセットを追加するには、**Add**をクリックし、表示されたページで次のタスクを実行します。
  - エンドポイント名とMACアドレスを入力します。
  - エンドポイントが属するサイトを選択し、エンドポイントのカテゴリを選択し、有効期間を指定して、**OK**をクリックします。
  - 必要に応じて他のプロパティを追加し、**OK**をクリックします。
5. アセットを編集するには、そのアセットのMACアドレスをクリックし、必要に応じて情報を編集してから、**OK**をクリックします。
6. アセットを書き出すには、**Export**をクリックします。
7. アセットをインポートするには、**Import**をクリックし、**Download Template**をクリックして、テンプレートに必要な情報を入力し、テンプレートを選択して、**OK**をクリックします。
8. プロパティをアセットに追加するには、**Add Properties**をクリックし、プロパティ名とデフォルトのプロパティ値を指定します。プロパティをさらに追加するには、 をクリックします。プロパティを削除するには、 をクリックします。
9. 1つまたは複数のアセットを削除するには、アセットを選択して、リストの最上部にある**Delete**をクリックします。